

アイヌ民話ライブラリ 1

# 上田トシの民話 1



アイヌ民族博物館

## 第2話 散文の物語

---

# 木彫りのオオカミ

収録日：1999年9月29日

資料番号：35298A

添付CD：1-2（36分23秒）

第2話 散文の物語「木彫りのオオカミ」<sup>1</sup>

(石狩の若者が語る)

アオナハ エタカスレ イオマフ ヒネ  
 a=onaha etakasure i=omap hine  
 (私の)父 誰よりも (私を)かわいがって

父は私をととてもかわいがって

オカアン ペ ネ ヒケ オラ  
 oka=an pe ne hike ora  
 暮らす(私) もの だった が こんど

いました。

アオナハ エキムネ コロ  
 a=onaha ekimne kor  
 (私の)父 山猟に行く と

父が山へ狩りに行く時は

アウレウヌ<sup>2</sup> ワ エキムネアン コロ オラ  
 a=ureunu wa ekimne=an kor ora  
 (私)ついて行っ て 山猟に行く(私) して こんど

私もついて行って

5 ユク ネ チキ カムイ ネ チキ  
 yuk ne ciki kamuy ne ciki  
 シカ で も クマ で も

シカでもクマでも

ライケ コロ オラ シケルラアン  
 rayke kor ora sikerura=an  
 とる と こんど 荷物を運ぶ(私)

父がとると

シケアン ネ ヤ ネ ヤ  
 sike=an ne ya ne ya  
 荷物を運ぶ(私) だ とか だ とか

私が荷物を運んだり

ネン ネン アオナハ アカスイ コロ  
 nen nen a=onaha a=kasuy kor  
 いる いる (私の)父 (私)手伝い ながら

いろいろと父を手伝って

アナン ワ オラ  
 an=an wa ora  
 いる(私) して こんど

いました。

10 ネプ ネ ヤッカ アオナハ イエパカシヌ  
 nep ne yakka a=onaha i=epakasnu  
 何 で も (私の)父 (私に)教える

父は何でも私に教えました。

… ネ クス ポ ヘネ  
 … ne kusu po hene  
 だ から なおさら

それでなおさら

1 調査年月日は1999年9月29日、調査地は上田トシ氏の自宅、調査者は本田優子氏で、別調査で訪れた藤村久和氏が同席されている。萱野茂著『ウエベケレ集大成』所収「第10話 ニ・ボン・ホロケウ イ・エ・ブンキネ 木彫りの狼がわたしを助けてくれた」(pp.165-204)とほぼ同じ内容である。また門別町で採録された松島トミ氏による類話が『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第8号』で大谷洋一氏により報告されている。「狼の木彫りを持つ女を救った男のウエベケレ」。

2 不詳だが、アウレウヌ a=ureunu は、同じ話者が当館資料 (No.35299) でセタ アウレウヌ seta a=ureunu 「犬を私が連れて」という文脈で用いた例がある。ウレ ure (～の足)・ウヌ unu (～を～につける) で「について行く」か。

アオナハ イヨモンコッテ<sup>β</sup> ワ  
 a=onaha i=omonkotte wa  
 (私の)父 (私を)大事にし て

父は私を大事にして

イヨマフ コロ オカアン アイネ  
 i=yomap kor oka=an ayne  
 (私を)かわいがり ながら 暮らす(私) うちに

がっていました。

タネ アコポロ ヒ オラノ  
 tane a=koporo hi orano  
 もう (私)大きくなる 時 から

もう少し私が成長して

15 アオナハ コロ ク シンナ  
 a=onaha kor ku sinna  
 (私の)父 の 弓 と別に

父の弓とは別に

ヤイカタ アコロ ク シンナ アカラ コロ  
 yaykata a=kor ku sinna a=kar kor  
 自分で (私)持つ 弓 別に (私)作る と

自分で弓を作るようになると

アオナハ クイエヘ アツカリ  
 a=onaha kuyehe akkari  
 (私の)父 の弓 以上に

かえって父の弓以上に

アコロ ク エウン ポ ヘネ ピリカ  
 a=kor ku eun po hene pirka  
 (私の)の 弓 に なおさら 良い

私の弓ではよく

カムイ オシマ カ キ コロ  
 kamuy osma ka ki kor  
 クマ 当たり も すると

クマがとれて

20 オラノ ポ ヘネ アオナハ  
 orano po hene a=onaha  
 こんど なおさら (私の)父

もう父は

エヤイコブンテク コロ  
 eyaykopuntek kor  
 喜び ながら

大喜びで

“アツ タクピ アコロ ペ、  
 “ar\_ takupi a=kor pe,  
 一人 だけ (私)持つ 者

「たったひとりのわが子

シネプ タクプ アコロ ペ アポホ ネ ア プ、  
 sinep takup a=kor pe a=poho ne a p,  
 ひとつ だけ (私)持つ 者 (私の)息子 だっ た が

一粒種のわが子だったが

エネ カムイ チカシヌカラ”  
 ene kamuy cikasnukar”  
 このように 神から 授かり物をする

何という神からの授かり物だろう」

3 オモンコッテ【o-mon-kotte】大事にして仕事をさせない、過保護にする：ひとり娘やひとり息子を甘えさせる場合など。[萱]  
 ／ iomonkotte 叱る。 Iomakur somo ~ [久 332]

25 セコロ アオナハ ハウエアン コロ  
 sekor a=onaha hawean kor  
 と (私の)父 言い ながら

と父は言って

エアラキンネ イエヤイコプンテク コロ  
 earkinne i=eyaykopuntek kor  
 ほんとうに (私に)喜び ながら

本当に私をほめてくれて

オカアン ペ ネ ア イ クス オラ  
 oka=an pe ne a \_hi kusu ora  
 暮らす(私) もの だった ので こんど

いました。そこで

“アオナハ ネイ パクノ トウラノ  
 “a=onaha ney pakno turano  
 (私の)父 いつ までも 一緒に

「父さん、いつまでも一緒に

エキムネアン ソモ キ ヤツカ  
 ekimne=an somoki yakka  
 山獵に行く(私達) しない でも

狩りに行かなくても

30 プイネ エキムネアン ヤツカ  
 puyne ekimne=an yakka  
 ひとりで 山獵に行く(私) しても

私ひとりで行っても

ピリカ クス  
 pirka kusu  
 いい ので

大丈夫だから

アオナハ アナクネ  
 a=onaha anakne  
 (私の)父 は

父さんは

テ ワノ チセ オツ タ アン ワ  
 te wanocise or\_ ta an wa  
 これ から 家 の所 に い て

これからは家において

チセ タ チン…ウサ オカイ ペ サツケ ネ ヤ  
 cise ta cin usa okay pe satke ne ya  
 家 で 皮張り 色々 ある もの 干す だ とか

家で皮張りとか、肉を干すとか

35 ナ ネン ネン モンライケ ヤク ピリカ”  
 na nen nen monrayke yak pirka”  
 まだ いろ いろ 仕事する と いい

そういう仕事をしてください」

セコロ アイエ プ ネ クス  
 sekor a=ye p ne kusu  
 と (私)言う ものだ から

と言いました。

オラ アオナハ アナクネ エキムネ  
 ora a=onaha anakne ekimne  
 こんど (私の)父 は 山獵に行き

それで父は山獵には

カ ソモ キ ノ  
 ka somo ki no  
 も せず に

行かずに

プイネ エキムネアン コロ オラノ  
 puyne ekimne=an kor orano  
 ひとりで 山獵に行く(私) と それから

私ひとりで行って

40 トウツコ レレコ エキムネアン コロ  
 tutko rerko ekimne=an kor  
 2日 3日 山獵に行く(私) と

2、3日

キムン… エキムネアン コロ  
 kim un... ekimne=an kor  
 山 に 山獵に行く(私) と

山に狩りに行っては

オラ スイ トウツコ レレコ  
 ora suy tutko rerko  
 こんど また 2日 3日

また2、3日

ペトルン チェプコイキアン ネ ヤ  
 pet or un cepkoyki=an ne ya  
 川 の所 に 魚とりに行く(私) だ とか

川で魚をとったり

キ コロ アナン ペ ネ クス  
 ki kor an=an pe ne kusu  
 し て 暮らす(私) もの だ から

して暮らしたので

45 ネプ ネ ヤッカ アエシリキラプ カ  
 nep ne yakka a=esirkirap ka  
 何 で も (私)苦勞する も

私たちは何不自由なく

ソモ キ ノ オカアン ペ ネ ア プ  
 somo ki no oka=an pe ne a p  
 せず に 暮らす(私) もの だ っ た が

暮らしていました。

シネアンタ マク ネ ワ ネ ヤ<sup>4</sup>  
 sineanta mak ne wa ne ya  
 ある時 どう し て だ か

ある時、どうしたわけだか

イシカツ トウラシ アラパアン ルスイ ヒネ  
 Iskar\_ turasi arpa=an rusuy hine  
 石狩川 を遡って 行き(私) たく て

石狩川をさかのぼって行きたくくなりました。

アラパアン カ アエラミシカリ プ ネ ア プ  
 arpa=an ka a=eramiskari p ne a p  
 行く(私) も (私)経験がない もの だ っ た が

行ったこともないのに

50 イシカツ トウラシ アラパアン ルスイ  
 Iskar\_ turasi arpa=an rusuy  
 石狩川 を遡って 行く(私) したい

石狩川を上って行きたく

ヒ クス オラ  
 hi kusu ora  
 ので こんど

なったので

4 唐突な行動に見えるが、アイヌの物語中で本人の意思に関係なく無性に何かをしたくなるという描写は何らかの神がそうさせているからで、そのいきさつは後に明らかになる。

イカヨブ タクプ アセ カネ ヒネ  
 ikayop takup a=se kane hine  
 矢筒 だけ (私)背負い も して

矢筒だけを背負って

チプオアン ヒネ  
 cip'o=an hine  
 舟に乗る(私) して

舟に乗って

チプ アエラリウ ヒネ アラパアン イネ  
 cip a=erariw hine arpa=an \_hine  
 舟 (私)こい で 行く(私) して

舟をこいで行きました。

55 チェプ カ ポロンノ  
 cep ka poronno  
 魚 も たくさん

魚もたくさん

イシカン ネ クス オカ ヤツカ  
 Iskar\_ ne kusuoka yakka  
 石狩川 だ から いる が

石狩川にはいるのですが

チェプ カ アライケ クニ カ  
 cep ka a=rayke kuni ka  
 魚 も (私)とろう と も

魚をとろうとも

アラム カ ソモ キ ノ  
 a=ramu ka somo ki no  
 (私)思う も せず に

思わずに

イシカツ トウラシ  
 Iskar\_ turasi  
 石狩川 を遡って

石狩川をさかのぼって

60 ラリウアン ヒネ アラパアン アイネ  
 rariw=an hine arpa=an ayne  
 舟をこぐ(私) して 行く(私) うちに

舟をこいで行って行って

… アクス トオプ アラパアン コロ  
 ... akusu toop arpa=an kor  
 したところ ずっと 行く(私) と

ずっと遠くまで行ったところ

コタン アン ノイネ シラン ルウエ  
 kotan an noyne siran ruwe  
 村 ある らしい 様子がある こと

村があるらしい様子が

シエトクン アヌカラ。  
 sietok un a=nukar.  
 前方 に (私)見る

前のほうに道が見えました。

“ アプカサン カ エラミシカリ プ  
 “ apkas=an ka eramiskari p  
 歩く(私) も したことがない のに

「来たこともないし

65 ネア コタン アン ヒ カ  
 nea kotan an hi ka  
 あの 村 ある ことも

こんな村があることも

エラミシカリ。 イネアプ”  
 eramiskari. ineap”  
 知らない なんとまあ

知らなかったのに、どうしたことだろう」

セコロ ヤイヌアン ヒ クス  
 sekor yaynu=an hi kusu  
 と 思う(私) ので

と思いました。そして

ネウン カ ネイ タ カ  
 neun ka ney ta ka  
 どこ か いつ か

いずれどこかで

シニアン ヘネ レウシアン ヘネ  
 sini=an hene rewsu=an hene  
 休む(私) でも 泊る(私) でも

休んだり泊まったり

70 キ ヤクン アエプ  
 ki yakun aep  
 し たら 食べ物

するのなら食料に

セコロ ヤイヌアン ヒ クス  
 sekor yaynu=an hi kusu  
 と 思う(私) ので

と思ったので

チェプ トウプ レプ アライケ ヒネ  
 cep tup rep a=rayke hine  
 魚 2つ 3つ (私)とっ て

魚を2、3匹とって

チプ オロ アオマレ カネ ヒネ  
 cip oro a=omare kane hine  
 舟 の中 (私)入れる も して

舟に積んで

アラパアン ヒネ… クス  
 arpa=an hine... kusu  
 行く(私) して なので

いきました。

75 コタン アン ヒネ  
 kotan an hine  
 村 あっ て

村があって

ピリカ ペタル アニクス  
 pirka petaru an \_hi kusu  
 良い 水くみ道 ある ので

川から村へ通じる良い道があったので

ネ ペタル タ チプヤンケアン ヒネ オラ  
 ne petaru ta cipyanke=an hine ora  
 その 水くみ道 に 舟をあげる(私) して こんど

そこに舟をあげて

ネア チェプ アシタプコモモ カネ ヒネ  
 nea cep a=sitapakomomo kane hine  
 その 魚 (私)肩にかけ も して

その魚を肩にひっかけて

コタントウラシアン ルウエ ネ。  
 kotanturasi=an ruwe ne.  
 村に沿って上手に行く(私) の です

村の上手に向かって歩いて行きました。

- 80 … ネ アクス  
... ne akusu  
だっ たところ  
すると
- コタン ノシキ タ コタンコロクル  
kotan noski ta kotankorkur  
村 真ん中 に 村おさ  
村の真ん中に、村おさの家
- ネ ノイネ ネ クニ アラム  
ne noyne ne kuni a=ramu  
である らしい だ と (私)思う  
と思われる
- シポロ チセ アン ヒ クス  
siporo cise an hi kusu  
とても大きな 家 ある ので  
とても大きな家がありました。
- ネ コタン ノシキ タ トモ ウンノ  
ne kotan noski ta tomo unno  
その 村 真ん中 に 向かって  
そっちへ
- 85 アラパアン ルウエ ネ アクス… ヒネ  
arpa=an ruwe ne akusu... hine  
行く(私) こと だっ たところ して  
行って
- インカラアン ルウエ ネ アクス  
inkar=an ruwe ne akusu  
見る(私) こと だっ たところ  
みると
- フシコノ アナクネ  
huskono anakne  
とても古いの は  
(祭壇に)古いものは
- ユク サパ ネ ヤ  
yuk sapa ne ya  
獲物 頭 だ とか  
獲物の頭骨や
- カムイ サパ ウン ニ<sup>5</sup> ネ ヤ  
kamuy sapa un ni ne ya  
クマ 頭 置く 木 だ とか  
クマの頭骨をのせた棒が
- 90 ポン ニタイ ネ アシ ワ<sup>6</sup>  
pon nitay ne as wa  
小さい 林 として 立っ て  
小さい林のように立って
- アン ルウエ ネ… ネ コロカ  
an ruwe ne... ne korka  
いる の だ だ けれど  
います

5 イヨマンテ iyomante (クマの霊送りの儀式)の際に、クマの頭骨を二股の木の先にのせ、家の東側の祭壇に立てる。これをこの地方ではユクサパウンニ yuk-sapa-un-ni (獲物・頭・入れる・木)という。

6 家の東側にヌサ nusa (祭壇)があって、儀式の際にまつられたイナウ inaw (木幣)やユクサパウンニ yuksapaunni (獲物の頭骨を収める木)が立ち並んでいる。獲物に恵まれ、儀式も盛んに行っていたので祭壇が「小さな林のように」なっているのだが、古いものばかりで新しいものがないということは、最近は何もしておらず儀式もしていない、つまり男手が機能していないことを表している。

アシンノ アナクネ ネプ カ  
 asinno anakne nep ka  
 真新しいの は 何 も

新しいものは何も

アシリ カムイ サパ カ ネプ カ  
 asir kamuy sapa ka nep ka  
 新しい クマ 頭 も 何 も

新しいクマの頭骨も何も

イサム ルウエ アオヤモクテ カ キ。  
 isam ruwe a=oyamokte ka ki.  
 ない こと (私)不思議に思う も する

ないのを不思議に思いました。

95 チセ ソイ カ エイタサ ピリカ ルウエ  
 cise soy ka eytasa pirka ruwe  
 家 外 も あまり 良い こと

家の外もあまりきれいでは

カ ソモ キ<sup>7</sup> ルウエ アオヤモクテ コロ  
 ka somoki ruwe a=oyamokte kor  
 も ない こと (私)不思議に思い ながら

ないのを不思議に思いながら

チセ ソイ タ アラパアン ヒネ  
 cise soy ta arpa=an hine  
 家 外 に 行く(私) して

家の外まで行って

シムシシカアン<sup>8</sup> ルウエ ネ アクス  
 simusiska=an ruwe ne akusu  
 咳払いをする(私) こと だっ たところ

咳払いをしました。すると

オロ タ タネ スクパ ピリカ ルプネマツ  
 oro ta tane sukup pirka rupnemat  
 そこ に もう 年とった 美しい 年配の女性

そこに年配の美しい女性が

100 ソイエネ ヒネ イヌカラ オラ  
 soyene hine i=nukar ora  
 外に出 て (私)を見る こんど

出て来て、私を見た

アヌカレ クニ… ルウエ ネ ヤツカ<sup>9</sup>  
 a=nukare kuni... ruwe ne yakka  
 (私)見せる と こと で も

のですが

ネプ カ エシリキラッ ペ ネ ノイネ  
 nep ka esirkirap pe ne noyne  
 何 か で苦労する もの である らしく

何か心配事があるようで

シクラブ エムコ コオトウクットウクツケ<sup>10</sup> カネ アン  
 sikrap emko kootukuttukutke kane an  
 まつ毛 半分 埋まっ て いる

まつ毛の半分が埋まるほどまぶたがはれた

7 女性も働いていないことを表している。理由は以下の記述に。

8 来訪を告げる合図で、現在のノックか「ごめんください」にあたるもの。

9 この行は直訳すると「私は女性に『自分の姿』を見せよう…なのですが」のようになるが、言いかけてやめたもので、前の行から「イヌカラ ルウエ ネ ヤツカ i=nukar ruwe ne yakka (私を見たのですが)」と続く解釈した。

10 コオトウクツケ ko-otukutke 埋まる。[萱] と言おうとしたか

- ルプネマツ ソイネ ヒネ  
rupnemat soyne hine  
年配の女性 外に出 て
- 年配の女性が外に出て来て
- 105 イヌカラ ヒネ オラ スイ アフン ヒネ  
i=nukar hine ora suy ahun hine  
(私を)見 て こんど また 入っ て
- 私を見てまた家に入り
- “ソイ タ シケトクワ<sup>11</sup> アエラミシカリ  
“soy ta siketokwa a=eramiskari  
外 に 見覚えが (私)全くない
- 「外に見たこともない
- オッカヨ アン ルウェ ネ”  
okkayo an ruwe ne”  
男性 いる の です
- 男性がいます」
- セコロ ハウエアン… ハウエアサクス  
sekor hawean... haweas akusu  
と 言う 声が聞こえ たところ
- と言う声がしました。すると
- “ネノ オカアン カトウ ウエン ヤツカ  
“nenoka=an katu wen yakka  
こんな 暮らす(私) 有様 悪く ても
- 「このように暮らしぶりは悪いが
- 110 ソイ タ エク クル ネ ヤクン アフンケ”  
soy ta ek kur ne yakun ahunke”  
外 に 来る 人 だ ったら 入れろ
- 外に来た人ならばお入れしなさい」
- セコロ ハワシ ハウエ アサクス オラ  
sekor hawas hawe as akusu ora  
と 言う 声 し たところ こんど
- と言っているのが聞こえました。
- イアフンケ クス イェ ヒ クス  
i=ahunke kusu ye hi kusu  
(私を)入れる と 言う ので
- 私を入れるように言われて
- スイ ソイエネ ヒネ  
suy soyene hine  
また 外に出る して
- (また女性が外に出て来て)
- ムンヌパ ソ アヌ フム アシ ア プ オラ  
munnupa so anu hum as a p ora  
掃除をする ゴザ を敷く 音 し た が こんど
- 掃除やゴザを敷く音がしていましたが
- 115 ソイエネ ヒネ  
soyene hine  
外に出る して
- 外に出て来て
- イアフンケ クス イェ クス  
i=ahunke kusu ye kusu  
(私を)入れる と 言う ので
- 私に入るように言うので

11 シケトクナワ siketoknawa と言おうとしたのだろう。

オリパカン ヒネ  
oripak=an hine  
遠慮をする(私) して

かしこまって

アフナン ルウエ ネ アクス… ヒネ…  
ahun=an ruwe ne akusu... hine...  
家に入る(私) こと だっ たところ して

家に入ると

アクス オンネクル カ アン。  
akusu onnekur ka an.  
すると 老紳士 も いる

老人がいました。

120 シノ ニシパ ネ ルウエ  
sino nispa ne ruwe  
本当の 長者 である こと

その真の長者ぶりに

アオクンヌレ カ キ コロ  
a=okunnure ka ki kor  
(私)ひどく驚く も し ながら

気おされながら

イシクレイエパレアン<sup>(12)</sup> コロ インカラアン。  
isikreyepare=an kor inkar=an.  
目をはわせる(私) て 見る(私)

遠慮がちに目をはわせ

チセ オンナイ カ アヌカラ カ イキ コロ  
cise onnay ka a=nukar ka iki kor  
家 の中 も (私)を見る も し て

家の中も見て

アナン ルウエ ネ ア プ  
an=an ruwe ne a p  
いる(私) の だっ た が

いると

125 ネ オンネクル イエランカラプ。  
ne onnekur i=erankarap.  
その 老紳士 (私に)挨拶をする

その老人は私に挨拶をしました。

アエランカラプ カ キ ルウエ ネ イネ  
a=erankarap ka ki ruwe ne hine  
(私)挨拶をする も する の であって

私も挨拶を返しました。

オンネクル カ ネプ カ エシリキラッ ペ  
onnekur ka nep ka esirkirap pe  
老紳士 も 何 か 苦労する もの

老人も何か悩み事が

ネ ノイネ オカ ルウエ アオヤモクテ コロ  
ne noyne oka ruwe a=oyamokte kor  
である らしく いる こと (私)不思議に思っ て

ある様子で、私は怪訝に思って

アナン ルウエ ネ ア プ  
an=an ruwe ne a p  
いる(私) の だっ た が

いました。

12 家の中をジロジロ見回すのは無作法とされているので、遠慮をして伏し目がちに目を這わせたという表現。

- 130 タネ シットケシ カ キ プ ネ クス…  
tane sittokes ka ki p ne kus...  
もう 日が暮れる も する ものだ から  
もう日が暮れる
- ヒ クス  
hi kusu  
ので  
ので
- ネ アコロ ワ… ネア チェプ アサンケ ヒネ  
ne a=kor wa... nea cep a=sanke hine  
その (私)の 例の 魚 (私)出し て  
持って来た例の魚を出して
- ネ ルプネマツ ウン  
ne rupnemat un  
あの 年配の女性 に  
その年配の女性に
- “ スパ ワ イコレ ヤク ピリカ ”  
“ supa wa i=kore yak pirka ”  
料理し て (私)にくれ たら いい  
「料理してください」
- 135 セコロ ハウエアナン コロ アサンケ  
sekor hawean=an kor a=sanke  
と 言う(私) ながら (私)出す  
と言って出したところ
- ルウエ ネ アクス ネア ルプネマツ  
ruwe ne akusu nea rupnemat  
の だっ たところ あの 年配の女性  
その年配の女性は
- ヤシケ ア ヤシケ ア  
yaske a yaske a  
何度も手も洗う  
手をよく洗い
- エウオンネ ア エウオンネ ア ヒネ  
ewonne a ewonne a hine  
何度も顔を洗っ て  
顔をよく洗って
- ネア チェプ スパ ルウエ ネ ヒネ  
nea cep supa ruwe ne hine  
あの 魚 煮る の です そして  
その魚を料理しました。
- 140 スケ オカ アン ワ  
suke oka an wa  
煮る 後 になっ て  
料理が終わって
- イペアン クス ネ アクス  
ipe=an kusu ne akusu  
食事をし(私) ようと したところ  
食事しようとしたところ
- ネア オンネクル エネ ハウエアニ。  
nea onnekur ene hawean \_hi.  
あの 老紳士 このように言った  
その老人はこう言いました。
- (話は少し戻る)<sup>(13)</sup>

13 以下のくだりを言い忘れたので少し話を戻したもの。この前にも言い忘れて話を少し戻した箇所が複数ある。

コロ インカラン ルウェ ネ アクス  
 kor inkar=an ruwe ne akusu  
 ながら 見る(私) の だっ たところ

見ると

チセ オンナイ タ アシッ… ペウレ トウンブ  
 cise onnay ta asir... pewre tumpu  
 家 の中 に 新しい 若い 寝床

家の中に新しい若夫婦の寝床が

145 アン ルウェ アオヤモクテ コロ  
 an ruwe a=oyamokte kor  
 ある こと (私)不思議に思っ て

あるのを不思議に思って

アナン ルウェ ネ ア プ  
 an=an ruwe ne a p  
 いる(私) の だっ た が

いたのですが

ネア オンネクル  
 nea onnekur  
 あの 老紳士

その老人が

“アポホ ホプニ ワ… ホプニ”  
 “a=poho hopuni wa... hopuni”  
 (私の)息子 起き て 起きろ

「息子よ、起きなさい」

セコロ  
 sekor  
 と

と

150 “ウタシパ ペウレ オッカヨ  
 “ utaspa pewre okkayo  
 お互い 若い 男性

「若者同士

ウコイタク ヤク ピリカ ナ、ホプニ”  
 ukoytak yak pirka na, hopuni”  
 互いに話す と いい よ 起きろ

話をしたらいい。起きなさい」

セコロ ハウエアン ルウェ ネ アクス オラ  
 sekor hawean ruwe ne akusu ora  
 と 言う こと だっ たところ こんど

と言ったところ

ネ アシッ トウンブ オロ ワ ネ… オッカヨ  
 ne asir\_ tumpu oro wa ne... okkayo  
 あの 新しい 寝床 の所 から その 男性

その新しい寝床から男性

ピリカ ワ オケレ オッカヨ<sup>14</sup> エク イネ  
 pirka wa okere okkayo ek \_hine  
 それはそれは美しい 男性 来 て

とても美しい男性が出てきて

155 アペサム タ ア ヒネ イエランカラブ。  
 apesam ta a hine i=erankarap.  
 炉端 に 座っ て (私に)挨拶をする

炉端に座って私に挨拶をし

14 この家は男手がないのではなく、若い男性がいたのであった。にも関わらず男の仕事は何もしていないということは、この男性の身の上になんかが起きていと推察される。

アエランカラブ カ アキ ルウエ ネ  
 a=erankarap ka a=ki ruwe ne  
 (私)挨拶をする も (私)する の です

私も挨拶を返しました。

ヒネ オラ イペ カ キ ヒネ  
 hine ora ipe ka ki hine  
 そして こんど 食事 も し て

そして皆も食事をし

イペアン オカ アン イネ  
 ipe=an oka an \_hine  
 食事を(私)の後 になっ て

私も食事をした後に

ウウエネウサラアン クニネ イケ カ  
 uwenewsar=an kunine \_hike ka  
 よもやま話をする(私) しよう に も

皆でよもやま話をしようとしても

160 エイタサ アイエ ア イタク タサ イタク  
 eytasa a=ye a itak tasa itak  
 あまり (私)言っ た 言葉 返す 言葉

男性はあまり私の話に返事を

カ ソモ キ ノ アン アイネ オラ  
 ka somoki no an ayne ora  
 も しない で いる あげく こんど

することもなくて

スイ ナニ ネア トウンブ オロ  
 suy nani nea tumpu oro  
 また すぐに あの 寝床 に

またすぐにあの寝床に

アフン シリ イキ…  
 ahun siri iki…  
 入る 様子 する

入ってしまったので

アフン ヒ クス オラ  
 ahun hi kusu ora  
 入る ので こんど

165 ネ オンネクツ トウラノ ウウエネウサラアン  
 ne onnekur\_ turano uwenewsar=an  
 あの 老紳士 と一緒に よもやま話をする(私)

老人とよもやま話を

コロ アナン アイネ  
 kor an=an ayne  
 ながら いる(私) うちに

して、やがて

ネ オンネクル カ ホツケ ヒ クス  
 ne onnekur ka hotke hi kusu  
 あの 老紳士 も 寝る ので

その老人も眠ったので

ヤイカタ カ ホツケアン…  
 yaykata ka hotke=an…  
 自分 も 寝る(私)

私も眠ろうと

アペサム タ ホツケアン ルウエ ネ ア プ  
 apesam ta hotke=an ruwe ne a p  
 炉端 で 寝る(私) こと だっ た が

炉端で横になったのですが

170 モコロ カ アコヤイクス コロ アナナイネ  
 mokor ka a=koyaykus kor an=an ayne  
 寝る も (私)できない で いる(私) したあげく

眠れないでいました。

タネ シットウムペケレ エハンケ アクス  
 tane sittumupeker ehanke akusu  
 もう 夜明け に近くなっ たところ

やがて夜明けが近くなると

オラノ ネ イシカツ トウラシ アラパアン ルスイ  
 orano ne Iskar\_ turasi arpa=an rusuy  
 それから あの 石狩川 をさかのぼって 行く(私) したい

石狩川をさかのぼって行ってみたいになりました。

シレラミシカリ カ アン ペ  
 sireramiskari ka an pe  
 行ったことのない も ある もの

行ったこともないのに

ヒナク ウン エネ アラパアン ルスイ ヒ アン  
 hinak un ene arpa=an rusuy hi an  
 どこ に このように 行く(私) したい の だなあ

私はどこに行きたいというのだろう

175 セコロ ヤイヌアン コロ ネ コロカ エネ…  
 sekor yaynu=an kor ne korka ene…  
 と 思う(私) ながら だ けれど このように

と思いましたが

ネウン ネ ヤッカ アラパアン ルスイ ヒ クス  
 neun ne yakka arpa=an rusuy hi kusu  
 どう で も 行く(私) したい ので

どうしても行ってみたいので

ナニナニ ペットウラシ  
 naninani petturasi  
 すぐに 川をさかのぼる

すぐにそのまま川上のほうへ

イカヨブ タクブ アセ カネ ヒネ  
 ikayop takup a=se kane hine  
 矢筒 だけ (私)背負う も して

矢筒だけを背負って

ネ ペツ トウラシ アラパアン ヒネ… アクス  
 ne pet turasi arpa=an hine... akusu  
 その 川 をさかのぼって 行く(私) して したところ

その川をさかのぼって

180 ペテトク タ アラパアン ルウエ ネ アクス  
 petetok ta arpa=an ruwe ne akusu  
 川の上流 に 行く(私) こと だっ たところ

川のずっと奥へと行ったところ

ネ ペトルン ピリカ ポロ ナイ  
 ne pet or un pirka poro nay  
 その 川 の所 に 美しい 大きい 川

その川にきれいな大きい沢が

サン コロ アン イケ オラ  
 san kor an \_hike ora  
 出 て いる が こんど

流れ込んでいて

ペットウラシ ソモ アラパアン ノ…  
 petturasi somo arpa=an no…  
 川をさかのぼら ず 行く(私) して

(今までの)川をさかのぼらずに

ソモ キ ノ  
somo ki no  
せず に

185 ネ ナイ トウラシ アラパアン ルスイ。  
ne nay turasi arpa=an rusuy.  
その 川 をさかのぼって 行く(私) したい

沢をさかのぼってみたくりました。

もう ピリカ ポロ ナイ ネ プ ネ クス  
もう pirka poro nay ne p ne kusu  
美しい 大きい 川 な の だ から

きれいな大きい沢なので

ピタラ ネ ヤツカ  
pitar ne yakka  
河原 で も

河原も

ピリカ ピタラ カ アン ヒネ オラ  
pirka pitar ka an hine ora  
良い 河原 も あっ て こんど

きれいな河原があつて

ナニ ネ ナイ トウラシ アラパアン ヒネ  
nani ne nay turasi arpa=an hine  
すぐに その 川 をさかのぼって 行く(私) して

すぐにその沢をさかのぼって

190 ナイ エトク タ アラパアン ルウエ ネ アクス  
nay etok ta arpa=an ruwe ne akusu  
川 の上流 に 行く(私) こと だっ たところ

沢の水源まで行って

インカラアン アクス  
inkar=an akusu  
見る(私) したところ

みると

ネ ナイ エトク タ  
ne nay etok ta  
その 川 の先 に

その沢の水源の

パラ… パラコツ オツ タ  
para... parakot or\_ ta  
広い 広い窪地 の所 に

広い窪地に

チセ アン シリ イキ  
cise an siri iki  
家 ある 様子 する

家が建っていました。

195 エネ アン ウシケ タ チセ アン クニ  
ene an uske ta cise an kuni  
こんな 場所 に 家 ある と

このような場所に家があるとは

アラム カ ソモ キ ノ アン ウシケ タ  
a=ramu ka somo ki no an uske ta  
(私)思い も せず に ある 場所 に

思いもよらない場所に

チセ アシ ワ アン。  
cise as wa an.  
家 建っ て いる

家が建っていました。

ピリカ ポン チセ  
 pirka pon cise  
 良い 小さい 家

きれいな小さい家が

アシ ワ アン ルウエ ネ ワ  
 as wa an ruwe ne wa  
 建っ て いる の であっ て

建っていて

200 ネン カ アイヌ アン ルウエ ネ クニ  
 nen ka aynu an ruwe ne kuni  
 誰 か 人 いる の だ と

誰か人がいるだろうと

アラム カ キ コロ  
 a=ramu ka ki kor  
 (私)思い も し ながら

思いながら

ナニナニ アラパアン イネ  
 naninani arpa=an \_hine  
 すぐに 行く(私) して

すぐにそのまま行って

パラコツ トウラシ  
 parakot turasi  
 広い窪地 に沿って上手へ

広い窪地を進んで

アラパアン ルウエ ネ アクス  
 arpa=an ruwe ne akusu  
 行く(私) の だっ たところ

行くと

205 ネ チセ オロ ワ ワッカタ オカ カ アン。  
 ne cise oro wa wakkata oka ka an.  
 その 家 の所 から 水くみした 跡 も ある

その家から沢へ水くみに出た跡がありました。

オラ ネ ワッカ アタ ウシケ…  
 ora ne wakka a=ta uske…  
 こんど その 水 (人)くむ 場所

そしてその水くみ場

ネ ウシケ タ  
 ne uske ta  
 その 場所 に

の所に

ピリカ ポン ヌタプ アン ヒケ  
 pirka pon nutap an hike  
 良い 小さい 野原 ある のに

きれいな小さい野原があるのに

オラ ネ ポン ヌタプ オツ タ  
 ora ne pon nutap or\_ ta  
 こんど その 小さい 野原 の所 に

その小さい野原に

210 セタ ル シッチニナニナ ルウエ<sup>15</sup>  
 seta ru sitcininanina ruwe  
 犬 道 踏み荒らす 跡

犬が踏み荒らしたような跡があつて

15 シッチニナニナ sir-ci-nina-nina あたりをごちゃごちゃにする [萱]

アオヤモクテ カ…  
a=oyamokte ka…  
(私)不思議に思い も

不思議に思いました。

セタ アン ペ ネ ヤクン  
seta an pe ne yakun  
犬 いる の だっ たら

犬がいるのなら

イエミク カ キ ナンコロ ペ  
i=emik ka ki nankor pe  
(私に)吠える も する だろう が

私に吠えるだろうに

セタ イエミク カ ソモ キ コロ  
seta i=emik ka somo ki kor  
犬 (私に)吠える も しな い と

犬に吠えられることもありません。

215 エケシンネ<sup>(16)</sup> シルワンテアン カ  
ekesinne siruwante=an ka  
方々を 見渡す(私) も

あたりを見渡す

キ コ… アクス  
ki ko… akusu  
し たところ

と

チセ ソイ タ ポン テンネプ  
cise soy ta pon tennep  
家 の外 に 小さい 赤ん坊

家の外で赤ん坊が

テツテレケ<sup>(17)</sup> コロ シノツ コロ アン シリ  
tetterke kor sinot kor an siri  
よちよち歩き ながら 遊ん で いる 様子

よちよち歩いて遊んでいる様子が

シエトクン アヌカラ コロ  
sietok un a=nukar kor  
前方 に (私)見る ながら

目の前に見えました。

220 アラパアン ルウエ ネ アクス  
arpa=an ruwe ne akusu  
行く(私) の だっ たところ

私が行くと

ネ テンネプ イヌカラ アクス  
ne tennep i=nukar akusu  
その 赤ん坊 (私を)見 たところ

その赤ん坊は私を見て

チセ オンナイ アフン シリ イキ。  
cise onnay ahun siri iki.  
家 の中 入る 様子 する

家の中に入っていきました。

ナニ アラパアン ヒネ  
nani arpa=an hine  
すぐ 行く(私) して

すぐに私は

16 エケシンネ シルワンテ ekeshinne siruwante 方々に目を配って見る [久 180]

17 テツテレケ tetterke 赤ん坊がヨチヨチ歩く(跳ぶような走るような歩き方なのでこう言う)。[田]

- チセ ソイ タ アラパアン ヒネ  
cise soy ta arpa=an hine  
家 の外 に 行く(私) して  
家の前に行って
- 225 シムシシカアン カ キ ヒネ  
simusiska=an ka ki hine  
咳払いをする(私) も し て  
咳払いをして
- オラ アフナン ルウエ ネ アクス  
ora ahun=an ruwe ne akusu  
こんど 入る(私) こと だっ たところ  
家に入ると
- チセ オンナイ タ オシソウン ネ クニ  
cise onnay ta osisoun ne kuni  
家 の中 に 右座 だ と  
家の中の右座のほうと
- アラム ウシケ タ  
a=ramu uske ta  
(私)思う 場所 に  
思う場所に
- ピリカ ワ オケレ ポン メノコ ネ ヤ  
pirka wa okere pon menoko ne ya  
それはそれは美しい 若い 女性 だ か  
大変美しい若い女性が
- 230 パシ テツテレケ コロ アン ア ポイソ  
pas tetterke kor an a poyson  
走る よちよち歩き ながら い た 子供  
よちよち歩いていた子供を
- テムニコロ タ キシマ カネ アン ヒネ  
temnikor ta kisma kane an hine  
腕の中の に つかみ ながら い て  
腕に抱きながら
- チシ コロ アン ヒ クス  
cis kor an hi kusu  
泣き ながら いる ので  
泣いていました。
- オロ タ アフナン ヒネ… アエランカラブ  
oro ta ahun=an hine... a=erankarap  
そこ に 入る(私) して (私)挨拶をする  
そこに私が入って挨拶すると
- アクス イエランカラブ カ キ ヒネ  
akusu i=erankarap ka ki hine  
すると (私に)挨拶し も し て  
私に挨拶をしつつも
- 235 オラ チシ コロ アン ヒネ オラ  
ora cis kor an hine ora  
こんど 泣い て い て こんど  
泣いていて
- オトピ ウコウサライエ ワ インカラン  
otopi ukousaraye wa inkar=an  
髪 一緒に分け て 見る(私)  
髪をかき分けた拍子に顔が見えました。
- アヌカン ルウエ  
a=nukar\_ ruwe  
(私)見る こと  
見ると

ソンノ ピリカ ワ オケレ  
 sonno pirka wa okere  
 本当に それはそれは美しい

それはそれは美しい

オアラ ポン スクプ メノコ  
 oar pon sukup menoko  
 全く 若い 大人の 女性

若い大人の女性

240 ネ ヒネ… アン ルウエ ネ ヒネ  
 ne hine... an ruwe ne hine  
 であって いる こと であって

でした。

エアラキンネ アオクンヌレ カ キ ヒ クス  
 earkinne a=okunnure ka ki hi kusu  
 本当に (私)驚き も する ので

本当に驚きました。

オラ アコロ イカヨプ オロ ワ  
 ora a=kor ikayop oro wa  
 こんど (私)の 矢筒 の所 から

そして私は矢筒から

アエプ アサンケ ヒネ  
 aep a=sanke hine  
 食べ物 (私)出し て

食料を出して

“エ… スパ ワ  
 “e... supa wa  
 あなた 煮る よ

「料理して下さい。

245 マク ネ ヒネ エネ エアン ルウエ アン?  
 mak ne hine ene e=an ruwe an?  
 どう し て このように (お前)いる の か

一体どうしてあなたはここにいるのですか？

トウミ サウオツ ペ カ オカ  
 tumi sawot pe ka oka  
 戦い から逃げる 者 も いる

世の中には戦火から逃れる者もいれば

ケム サウオツ ペ カ オカイ ペ ネ イケ<sup>18</sup>  
 kem sawot pe ka okay pe ne\_hike  
 飢饉 から逃げる 者 も いる もの だ が

飢饉から逃れる者もいますが

トウミ サウオツ ヘ  
 tumi sawot he  
 戦い から逃げる か

あなたは戦争か

ケム サウオツ ヘ ネプ ヘ エキ ワ  
 kem sawot he nep he e=ki wa  
 飢饉 から逃げる か 何 か (お前)し て

飢饉か

250 ヘマンタ エエイケスイ ヘ キ ヒネ  
 hemanta e=eikesuy he ki hine  
 何 (お前)逃げる か し て

何から逃れて

18 おもに散文説話中で相手の素情を確かめる時に出て来る常套表現。

エネ エアン ルウェ アン?”  
ene e=an ruwe an?”  
このように (お前)いる の か

ここでこうしているのですか？」

セコロ ハウエアナン コロ  
sekor hawean=an kor  
と 言う(私) ながら

と言って

アエプ アサンケ ヒネ… クス オラ  
aep a=sanke hine... kusu ora  
食べ物 (私)出し て ので こんど

私が食料を出すと

ヤシケ ア ヤシケ ア  
yaske a yaske a  
何度も手を洗う

女性は手をよく洗い

255 エウオンネ ア エウオンネ ア ヒネ  
ewonne a ewonne a hine  
何度も顔を洗っ て

顔をよく洗って

スパ ヒネ  
supa hine  
炊事し て

料理をして

イイペレ ヒ イコイプニ ワ  
i=ipere hi i=koypuni wa  
(私に)食べさせる こと (私に)出し て

私に出してくれたので

イペアン カ キ ヒネ オラ  
ipe=an ka ki hine ora  
食事する(私) も し て こんど

食事をしました。

ヤイカタ カ イペ ヤク ピリカ  
yaykata ka ipe yak pirka  
自分 も 食事すると いい

自分でもお食べなさい

260 セコロ アイエ アクス  
sekor a=ye akusu  
と (私)言っ たところ

と言うと

ヤイカタ カ イペ、  
yaykata ka ipe,  
自分 も 食事する

女性も

チシ コロ ネ コロカ イペ カ キ、  
cis kor ne korka ipe ka ki,  
泣き ながら だ が 食事 も し

涙ながらに食事をして

ネ ポイソン カ イペレ カ キ  
ne poyson ka ipere ka ki  
その 子供 も 食べさせ も する

その子供にも食べさせました。

ヒネ オラ  
hine ora  
そして こんど

そして

265 “マク ネ ヒネ エネ アン ルウエ ネ ヤ?”  
 “mak ne hine ene an ruwe ne ya?”  
 どう し て このように いる の です か

「一体どうしてこうしているのですか？」

セコロ スイ アコウウエペケンヌ  
 sekor suy a=kouwepekennu  
 と また (私)尋ねる

と私はもう一度尋ねました。

ルウエ ネ アクス オラ  
 ruwe ne akusu ora  
 こと だっ たところ こんど

すると

チシ コロ ネ コロカ エネ ハウエアニ。  
 cis kor ne korka ene hawean \_hi.  
 泣き ながら だ けれど こう 言った

涙ながらに話したことはこうでした。

“アユピ、  
 “a=yupi,  
 (私の)兄

「兄さんが

270 ポン アユピ ポロ アユピ アン ヒネ  
 pon a=yupi poro a=yupi an hine  
 小さい (私の)兄 大きい (私の)兄 い て

2人いて

イシカラ タ アナン ペ ネ ア プ  
 Iskar ta an=an pe ne a p  
 石狩 で 暮らす(私)者 だっ た が

石狩で暮らしていたのですが

イシカラ エムコ ウン ニシパ オロ ワ  
 Iskar emko un nispa oro wa  
 石狩川 の上流 の 長者 の所 から

石狩の上流<sup>19</sup>の裕福な人のところに

アイエトウン ヒネ オラ エカン ヒネ  
 a=i=etun hine ora ek=an hine  
 (人が私を)娶っ て こんど 来る(私) して

嫁にもらわれていって

アナン ルウエ ネ ア プ、  
 an=an ruwe ne a p,  
 暮らす(私)の だっ た が

暮らしていました。

275 エアラキンネ アシウト ニシパ ネ ヤツカ  
 earkinne a=siwto nispa ne yakka  
 本当に (私の)義父 さん で も

本当に義父も

アウナラペ シウト ネ ヤツカ  
 a=unarpe siwto ne yakka  
 (私の)義母 で も

義母も

イエヤム ネ ヤ… ワ  
 i=eyam ne ya... wa  
 (私を)大切にす だ とか して

私を大切に

19 後にこの村は「石狩川の中流」にあると語られている。ホントモ hontomo (～の中流) と言いつ間違えたものか、または「主人公の村から見て上流」という意味で言ったものか。

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ  
 nep a=esirkirap ka somoki no  
 何 (私)苦勞する も せず に

何不自由なく

アエコテ ニシパ ネ ヤツカ イ… ヤツカ  
 a=\_hekote nispa ne yakka i... yakka  
 (私の)連れ添う 旦那さん で も

主人も

280 イエヤム ネ ヤ  
 i=eyam ne ya  
 (私を)大切にする だ とか

私を大切に

ナ ネン ネン ネ クス  
 na nen nen ne kusu  
 まだ いる いる だ から

何ごとにも

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ  
 nep a=esirkirap ka somoki no  
 何 (私)苦勞し も せず に

不自由なく

アナン ペ ネ コロカ  
 an=an pe ne korka  
 暮らす(私) もの だ けれど

暮らしていましたが

オラ ケシト アン コロ  
 ora kesto an kor  
 こんど 毎日毎日

毎日毎日

285 ネプ カ アカラ カ ソモ キ ヤク  
 nep ka a=kar ka somoki yak  
 何 も (私)し も しない と

何もしないのも

ウェン セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス  
 wen sekor yaynu=an pe ne kusu  
 悪い と 思う(私) もの だ から

悪いと思ったので

ニナコエキムネアン ランケ コロ  
 ninakoekimne=an ranke kor  
 薪とりに山へ行く(私) 何度も ながら

いつも薪とりに山へ行って

アナン ラポッケ  
 an=an rapokke  
 暮らす(私) うちに

いました。そのうちに

ホンコロアン カ キ ワ  
 honkor=an ka ki wa  
 妊娠する(私) も し て

子を身ごもったので

290 ポ ヘネ アイコオマプ。  
 po hene a=i=koomap.  
 なおさら (人が私を)かわいが

なおさら私はかわいがられました。

アシウト ネ ヤツカ  
 a=siwto ne yakka  
 (私の)義父 で も

義父も

アコン ニシパ ネ ヤツカ  
a=kor\_ nispa ne yakka  
(私)の 夫 で も

主人も

イヨマフ コロ オカアン ペ ネ ア プ、  
i=yomap kor oka=an pe ne a p,  
(私を)かわいがって 暮らす(私) もの だっ た が

私をかわいがってくれていたのですが

ニナアン パテク キ コロ  
nina=an patek ki kor  
薪をとる(私) ばかり し て

薪とりだけは私がして

295 アナン ペ ネ ア プ  
an=an pe ne a p  
暮らす(私) もの だっ た が

いました。

シネアンタ  
sineanta  
ある時

ある時

アシウト ニシパ エネ ハウエアニ。  
a=siwto nispa ene hawean \_hi.  
(私)の義父 さん このように言った

義父がこのように言いました。

アコン ニシパ カ  
a=kor\_ nispa ka  
(私)の 夫 も

主人も

エキムネ ワ イサム クス オカケ タ  
ekimne wa isam kusu okake ta  
山獺に行っ て しまう ので その後 で

山に行っていなくなった後で

300 アコシマチ エネ ワ ケシト アン コロ  
'a=kosmaci e=ne wa kesto an kor  
(私)の嫁 (お前)であっ て 毎日毎日

『嫁よ。毎日毎日

エニナ コロ パテク アン クス  
e=nina kor patek an kusu  
(お前)薪とっ て ばかり いる ので

薪とりばかりしているので

エニナ ウシ アエパカシヌ クス ネ ナ。  
e=nina usi a=epakasnu kusu ne na.  
(お前)薪とり する所 (私)教える つもり だ よ

薪とりをする場所を教えてあげよう。

エキムネアン ナ  
ekimne=an na'  
山に行く(私たち) よ

山に行こう』

セコロ ハウエアニ コロ  
sekor hawean kor  
と 言う ながら

と言って

305 イシレン ヒ クス アトウラ ヒネ  
i=siren hi kusu a=tura hine  
(私を)誘う ので (私)つい て

私を誘うので、ついて

エキムネアン ルウエ ネ アクス  
 ekimne=an ruwe ne akusu  
 山に行く(私たち) こと だっ たところ

山に行くこと

オラ ネ オロ ネ ヒ カ  
 ora ne oro ne hi ka  
 こんど どの 場所 な の か

どこだか

アエランペウテク ウシケ ペカ  
 a=erampewtek uske peka  
 (私)わからない 場所 に

わからない場所に

イトウラ ヒネ アラキアン ヒネ  
 i=tura hine arki=an hine  
 (私を)連れ て 来る(私) して

連れられて来て

310 テ タ ネ アラキアン ルウエ ネ ア プ  
 te ta ne arki=an ruwe ne a p  
 ここ に 来る(私) の だっ た が

ここに来たのですが

オラ エネ ハウエアニ。  
 ora ene hawean \_hi.  
 こんど このように言った

義父はこのように言いました。

ニナ ウシ ピリカ ウシ  
 'nina usi pirka usi  
 薪とり するに 良い 場所

『薪とりにいい場所を

アヌカラ ワ エカン クス ネ ナ。  
 a=nukar wa ek=an kus ne na.  
 (私)見 て 来る(私) つもり だ よ

見て来よう。

テ タ シニ ワ アン  
 te ta sini wa an'  
 ここで 休ん で いる

ここで休んでいなさい』

315 セコロ ハウエアニ コロ ソイエネ ア プ  
 sekor hawean kor soyene a p  
 と 言っ て 出かけ た が

と言って外に出ていったのに

オラノ エク ルウエ カ イサム オラノ  
 orano ek ruwe ka isam orano  
 それから 来る こと も ない こんど

帰って来ませんでした。

アエキマテク ワ オラノ  
 a=ekimatek wa orano  
 (私)に驚い て こんど

私は驚いて

ソイ タ ソイエネアン ワ オラノ  
 soy ta soyene=an wa orano  
 外 に 出る(私) して こんど

外に出て

- アアチャ アアチャ<sup>(20)</sup> セコロ ハウエアナン コロ  
 'a=aca a=aca' sekor hawean=an kor 『お義父さん、お義父さん』と言って  
 (私の)おじさん (私の)おじさん と 言う(私) ながら
- 320 ライパラパラカン コロ ホトウイパアン  
 rayparaparak=an kor hotuypa=an さんざん泣き叫んでも  
 ひどく大泣きする(私) ながら 呼ぶ(私)
- ヤッカ ネプ ハウ カ イサム。  
 yakka nep haw ka isam. 何の声もしません。  
 しても 何 声 も ない
- オラノ ホシピアン クニ カ  
 orano hosipi=an kuni ka 帰ろうにも  
 それから 帰る(私) しよう も
- ネオロ ネ ヒ カ アエランペウテク ノ  
 neoro ne hi ka a=erampewtek no そこがどこかもわからずに  
 どこ な の か (私)わからない で
- エネ アナン ルウエ ネ ア プ  
 ene an=an ruwe ne a p こうしてここで暮らしているのです。  
 このように 暮らす(私) こと だった が
- 325 オラノ マク カネ ヒネ  
 orano mak kane hine そしてどうしたことか  
 それから どう か して
- シリクンネ  
 sirkunne 夜  
 夜
- モコロ ウタラ オカアン ラポク  
 mokor utar oka=an rapok 人が寝静まるころに  
 眠る 人たち いる(人) あいだ
- ネ クニ アラム コロ オラノ  
 ne kuni a=ramu kor orano になると  
 だ と (私)思う と それから
- オキムネ キムンペ ハウ ペレレケ<sup>(21)</sup> コロ  
 okimne kimunpe haw pererke kor 山からクマの音が闇を裂いて  
 山から クマ 声 破れ ながら
- 330 サン コロ オラノ  
 san kor orano おりて来て  
 下る と こんど
- ネ ペレレケ ハウ キムンペ ハウ  
 ne pererke haw kimunpe haw その破れる 声 クマ 声

20 義父をシウト アチャポ siwto acapo という場合がある。ここでは呼びかけとして短く表現したものか。

21 ペレレケ pererke ビリビリと裂ける [久 672]、ペレケ perke 破れる、割れる [田]、ハウカンペレレセ hawkanpererse 声が割れるようになる (意味未詳) [奥]

チュコカリカリ<sup>22</sup> コロ アナン ペ ネ ア プ  
 cukokarikari kor an=an pe ne a p  
 くるくる巻き ながら いる(私) もの だっ た が

とどろいていたのに

オラ マッ カネ ヒネ  
 ora mak kane hine  
 こんど どう した ことか

どうしたことが

セタ カ イサム ペ オラ  
 seta ka isam pe ora  
 犬 も いない のに こんど

犬も飼っていないのに

335 エクシコンナ セタ ソヨシマ ワ  
 ekuskonna seta soyosma wa  
 突然 犬 外に飛び出し て

突然犬が外に飛び出して

オラノ シネ セタ ハウ キムンペ ハウ  
 orano sine seta haw kimunpe haw  
 それから 一匹 犬 声 クマ 声

一匹の犬の声とクマの声が

チュコカリカリ コロ  
 cukokarikari kor  
 くるくると巻き ながら

からみあって

ケサンチカラ アン コロ  
 kes ancikar an kor  
 毎 晩 になる と

毎日夜になると

セタ ハウ キムンペ ハウ  
 seta haw kimunpe haw  
 犬 声 クマ 声

犬の声とクマの声を

340 アヌ コロ アナン ルウエ ネ ワ  
 a=nu kor an=an ruwe ne wa  
 (私)聞きながら いる(私) こと であって

聞いていました。

ヘンパラ アン コロ  
 hempara an kor  
 いつ になる と

私はいつ

マク イキアン ペ アネ ルウエ アン セコロ  
 mak iki=an pe a=ne ruwe an sekor  
 どう する(私) 者 (私)な の か と

どうなるのだろうか

ヤイヌアン コロ オラノ  
 yaynu=an kor orano  
 思う(私) と それから

思っていると

アコロ ソン ラポッケ ヌワパン  
 a=kor son rapokke nuwap=an  
 (私)の 息子 そのうちに 出産する(私)

やがて私はお産をして息子が生まれ

22 チュコカリカリ ci-ukokarikari (くるくると巻く)。クマの声が繰り返して響いて来たの意か。5行後で語られる同単語は犬とクマの声がからみあい、吠えながら戦っている様子を表している。

345 カ キ ワ タア アコツ テンネブ  
 ka ki wa taa a=kor\_ tennep  
 も し て このように (私)の 赤ん坊

たので、こうして赤ん坊と

トゥラノ アナン ワ オラ  
 turano an=an wa ora  
 と一緒に 暮らす(私)して こんど

一緒に暮らしていました。

ヘンパラ アン コロ  
 hempara an kor  
 いつ になる と

いつか

マク イキアン ヘ キ  
 mak iki=an he ki  
 どう する(私) か する

何かが起こって

アイライケ ヘ キ プ アン  
 a=i=rayke he ki p an  
 (人が私を)殺す か するの か

殺されてしまうのではないか

350 セコロ ヤイヌアン コロ オラノ  
 sekor yaynu=an kor orano  
 と 思う(私) ながら こんど

と違って

チサン コロ パテク  
 cis=an kor patek  
 泣く(私) して ばかり

泣いてばかり

アナン ルウエ ネ ア プ  
 an=an ruwe ne a p  
 いる(私) の だった が

いたのですが

ヒナク ワ エク ニシパ  
 hinak wa ek nispa  
 どこ から 来る 旦那さん

どこからか旦那さんが

イオシコニ ルウエ アン”  
 i=oskoni ruwe an”  
 (私を)追いかける こと だなあ

私を探しに来てくれたのですね」

355 セコロ ハウエアン、  
 sekor hawean,  
 と 言う

と

チシ コロ ハウエアン ルウエ ネ ワ  
 cis kor hawean ruwe ne wa  
 泣き ながら 言う の であって

涙ながらに言うので

エアラキンネ アオクンヌレ。  
 earkinne a=okunnure.  
 本当に (私)驚く

本当に驚きました。

ウ克蘭 ネ レウシアン ニシパ ウタラ  
 ukuran ne rewsu=an nispa utar  
 昨夜 その 泊る(私) 長者 たち

夕べ泊まった村おさの家の

コシマチヒ ヘネ ソモ ネ セコロ  
 kosmacihi hene somo ne sekor  
 嫁 でも ない か と

嫁ではないのかと

360 ヤイヌアン コロ オラ  
 yaynu=an kor ora  
 思う(私) ながら こんど

思いながら

イペアン カ キ オカ アン ペ ネ クス  
 ipe=an ka ki oka an pe ne kusu  
 食事する(私) も する 後 になる もの だ から

食事も終えたので

レウシアン クス ネ セコロ  
 rewsu=an kusu ne sekor  
 泊る(私) つもりだ と

今夜は泊りますと

ハウエアナン ヒネ アナン ルウエ ネ  
 hawean=an hine an=an ruwe ne  
 言う(私) して いる(私) の です

言ってそこに泊まりました。

アクス ソンノ カ  
 akusu sonno ka  
 すると 本当に も

すると、本当に

365 ホツケ… モコラン カ ソモ キ ノ  
 hotke... mokor=an ka somo ki no  
 寝る 眠る(私) も しない で

眠らないで

アナン ルウエ ネ アクス  
 an=an ruwe ne akusu  
 いる(私) の だっ たところ

いたところ

トウナシ ホツケ ウタラ アナクネ  
 tunas hotke utar anakne  
 早く 寝る 人たち は

早く寝つける人たちは

ホツケ ラポッケ  
 hotke rapokke  
 寝る 間に

眠っている間に

オキムネ キムンペ ハウ  
 okimne kimunpe haw  
 山から クマ 声

山のほうからクマの声が

370 ハウカンペレレケ<sup>23</sup> コロ  
 hawkanpererke kor  
 声が割れるようになり ながら

割れるように響いて

サン ハウ アシ コロ アナン ラポッケ  
 san haw as kor an=an rapokke  
 下る 声 し て いる(私) そのうちに

下りて来る声がしていたと思ったら

23 ハウカンペレレセ hawkanpererse 声が割れるようになる (意味未詳) [奥]

- エクシコンナ チセ シッケウ ワ  
 ekuskonna cise sikkew wa  
 突然 家 の隅 から  
 突然家の隅から
- ネ ペコロ セタ ミク コロ  
 ne pekor seta mik kor  
 それ らしい 犬 吠え ながら  
 それらしい犬が吠えながら
- ソヨシマ ヒネ オラノ  
 soyosma hine orano  
 外へ飛び出し て それから  
 外に飛び出して
- 375 セタ ネ ヤ ネ キムンペ ハウ ネ ヤ  
 seta ne ya ne kimunpe haw ne ya  
 犬 だ とか その クマ 声 だとか  
 犬の声とクマの声が
- ハウエヘ チュコカリカリ コロ  
 hawehe cukokarikari kor  
 その声 くるくると巻き ながら  
 からみ合いながら
- アネピッタ オカアン アイネ  
 anepitta oka=an ayne  
 一晩中 いる(私) したあげく  
 夜どおしそれが続いて、やがて
- タネ シットウムペケレ ラポク ネ アクス  
 tane sittumupeker rapok ne akusu  
 もう あたりが明るくなる 間 になっ たところ  
 もう夜が明けるころになって
- オラ ネ キムンペ ハウ カ イサム、  
 ora ne kimunpe haw ka isam,  
 こんど その クマ 声 も ない  
 そのクマの声はやみ
- 380 セタ ハウ カ イサム ルウエ ネ ヒケ オラ  
 seta haw ka isam ruwe ne hike ora  
 犬 声 も なくなる の だ が こんど  
 犬の声もしなくなりました。
- イヨクンヌレアン ヒ クス  
 iyokunnure=an hi kusu  
 驚く(私) だから  
 私は驚きました。
- イカヨプ アイ ク や アコツ テク ヒネ  
 ikayop ay ku や a=kor\_ tek hine  
 矢筒 矢 弓 や (私)持つ さっとして  
 矢筒に弓矢をさっと持って
- ソイエネアン ヒネ  
 soyene=an hine  
 外に出る(私) して  
 外に出て
- ナニ ネ キムンペ ルウエヘ  
 nani ne kimunpe ruwehe  
 すぐ その クマ の跡  
 すぐクマの足跡を
- 385 アオペシ ヒネ エキムネアン。  
 a=opes hine ekimne=an.  
 (私)沿っ て 山に行く(私)  
 追って山に行きました。

アラパアン ルウエ ネ アクス  
 arpa=an ruwe ne akusu  
 行く(私) こと だっ たところ

すると

アラパアン ホントモ タ ネ… ホロケウ ノカ  
 arpa=an hontomo ta ne... horkew noka  
 行く(私) 途中 に その オオカミ 人形

オオカミの人形

ネ ニポ ネ ホロケウ ノカ ネ アカラ ペ<sup>24</sup>  
 ne nipo ne horkew noka ne a=kar pe  
 その 木彫り の オオカミ 人形 に (人)作る もの

オオカミの木彫りが

アラパアン ホントモ タ  
 arpa=an hontomo ta  
 行く(私) 途中 に

途中に

390 トウルセ ワ アン ヒ クス  
 turse wa an hi kusu  
 落ち て ある ので

落ちていました。

アウク ヒネ  
 a=uk hine  
 (私)取っ て

それを拾って

アコオンカミ ア アコオンカミ ア コロ オラ  
 a=koonkami a a=koonkami a kor ora  
 (私)何度も拝礼し ながら こんど

何度も拝礼してから

アウプソロオマレ ヒネ オラ  
 a=upsor'omare hine ora  
 (私)懐に入れ て こんど

自分の懐に入れて

ナニ ネ キムンペ カムイ ルウエヘ  
 nani ne kimunpe kamuy ruwehe  
 すぐ その クマ 神 の跡

すぐさままたクマの足跡を

395 アオペシ イネ  
 a=opes \_hine  
 (私)に沿っ て

追って

アラパアン ルウエ ネ アクス  
 arpa=an ruwe ne akusu  
 行く(私) こと だっ たところ

行きました。

キム タ アラパアン ルウエ ネ アクス  
 kim ta arpa=an ruwe ne akusu  
 山 に 行く(私) こと だっ たところ

山まで行ったところ

24 ホロケウ ノカ (オオカミの人形) と言ったあと、ゆっくりと説明するように言い換えている。ネ ne (その) ニポ ni-po (木・指小辞) ネ ne (である／になる) ホロケウ horkew (オオカミ) ノカ noka (形) ネ ne (として) アカラ a=kar (人が・～を作る) ペ pe(もの)。=木で作ったオオカミの人形、オオカミの木彫り。アイヌ文化では、こうした偶像には魂が宿るという考え方がある。この話でもこの木彫りのオオカミに魂が宿り、重要な役割を果たしていることは察しがつく。

- エハムトウラ<sup>25</sup> チクニ ホラク ワ アン  
 ehamtura cikuni horak wa an  
 そこに葉のつく 木 倒れ て いる  
 葉のついた木が倒れていて
- チョロポッケ ウン  
 corpokke un  
 その下 に  
 その下に
- 400 アフン ルウエヘ アン ヒ クス  
 ahun ruwehe an hi kusu  
 入る 跡 ある ので  
 クマが逃げ込んだ足跡があったので
- ナニ ネア エホラク チクニ ネ クス  
 nani nea ehorak cikuni ne kusu  
 すぐ その 倒れ 木 だ から  
 すぐその倒木の上を
- ネ ニ チクニ トウラシ<sup>26</sup> アラパアン ヒネ  
 ne ni cikuni turasi arpa=an hine  
 その 木 木 に沿って上に 行く(私) して  
 根元のほうから歩いて
- オロ タ ネ カムイ  
 oro ta ne kamuy  
 そこ に その クマ  
 クマが
- アン ルウエ ネ ノイネ アン ウシケ  
 an ruwe ne noyne an uske  
 いる こと である らしく ある 場所  
 いそうな場所を
- 405 ニ オポソ アヌカラ ヒ クス オラ  
 ni oposo a=nukar hi kusu ora  
 木 を透かして(私)見る ので こんど  
 枝のすき間ごしに見当をつけて
- アイ ク や アサンケ ヒネ  
 ay ku や a=sanke hine  
 矢 弓 や (私)出し て  
 弓矢を出し
- アシリコチョッチャ ルウエ ネ アクス  
 a=sirkocotca ruwe ne akusu  
 (私)強く射る こと だっ たところ  
 矢をヒョウと射たところ
- ネア アコロ 矢 オムツテク<sup>27</sup> シリ  
 nea a=kor 矢 omuttek siri  
 その (私)の 矢 埋まる 様子  
 私の矢がズブリと命中したのが
- アヌカラ カ キ ヒネ オラ ラポッケ  
 a=nukar ka ki hine ora rapokke  
 (私)見 も し て こんど そのうちに  
 見え、やがて

25 エハムトウラ e-ham-tura ～に・葉・を伴う。

26 チクニ トウラシ cikuni turasi 「木に沿って(上へ)」といった場合には、根元からこずえ方向へ移動することを表す。倒木の上を根元からこずえ方向に歩いた。

27 オムツテク omut-tek 埋まる [萱]。omkutke ノンデシマウ、ズブリト中ニ入ル。retar-airap koomkutke 白羽の矢がズブリと中に入る。[久 609]

- 410 ネ カムイ オカ… オクアラパレ<sup>28</sup> ハウ  
 ne kamuy oka... ok'arpare haw  
 その クマ 息をひきとる 声  
 そのクマが息をひきとる声を
- アヌ ヒ クス オラ  
 a=nu hi kusu ora  
 (私)聞く だから こんど  
 聞きました。そして
- ラナン ヒネ ネ ニ チヨロポク タ  
 ran=an hine ne ni corpok ta  
 下りる(私) して その 木 の下 に  
 木から下りて、その木の下に
- アフナン ヒネ インカラアン ルウエ ネ アクス  
 ahun=an hine inkar=an ruwe ne akusu  
 入る(私) して 見る(私) こと だっ たところ  
 もぐり込んで見ると
- カムイ ネ ヤッカ ソレクス<sup>29</sup>  
 kamuy ne yakka sorekusu  
 クマ で も それこそ  
 クマ神、それも一見して
- 415 シパセ カムイ ネ ヒ  
 sipase kamuy ne hi  
 とても偉い 神 だ と  
 本当に偉い神であることが
- アエラムアン ノ アン カムイ  
 a=eramuan no an kamuy  
 (私)わかっ て ある クマ  
 わかるクマが
- スマウネ ヒネ アン ヒ クス  
 sumawne hine an hi kusu  
 獲物になっ て いる ので  
 死んでいたの
- オロ タ アラパアン…  
 oro ta arpa=an...  
 そこ に 行く(私)  
 そこに私は行って
- サマ タ アラパアン ヒネ  
 sama ta arpa=an hine  
 そば に 行く(私) して  
 傍らに行って
- 420 アコオンカミ カ キ ルウエ ネ  
 a=koonkami ka ki ruwe ne  
 (私)拝礼し も する の である  
 拝礼をし
- ヒネ オラ イタカン イケ  
 hine ora itak=an \_hike  
 そして こんど 言う(私) して  
 こう言いました。
- “マク カトウ ネ ヒネ  
 “mak katu ne hine  
 どんな 事情 であっ て  
 「どうしたわけで

28 オクアラパレ ok'arpare と聞こえる。オーララパレ or-arpa-re 息をひきとる。[萱] / オーララパレ orarapare (息をひきとる時のうめき声→息をひきとる) [集大成 p.186]

29 ソレクス sore-kusu (それ [日本語]・こそ)。それこそ(程度のすごいことを言うとき、それを導くためにその表現の前に置かれる語の一つ)。[田]

エネ カムイ ネットパ アン ルウエ ネ ヤ  
 ene kamuy netopa an ruwe ne ya  
 こんな クマ 体 ある の だ か

このようにクマ神のなきがらがあるのか

アエラミシカリ クス  
 a=eramiskari kusu  
 (私)わからない ので

わかりません。

425 ウェンタラプ ヘネ アニ<sup>30</sup>  
 wentarap hene ani  
 夢 でも で

夢にでも

イエパカシヌ ソモ キ ヤク アナクネ  
 i=epakasnu somoki yak anakne  
 (私に)教える しない と は

教えてくださらないことには

エネ ネ ヒ カ アエランペウテク  
 ene ne hi ka a=erampewtek  
 どう な の か (私)わからない

どうにもわからない

クス ネ ナ。  
 kusu ne na.  
 します よ

のです。

ウェンタラプ アニ イエパカシヌ  
 wentarap ani i=epakasnu  
 夢 で (私に)教える

夢で私に教えて

430 ヤク ピリカ ワ”  
 yak pirka wa”  
 と いい よ

ください」

オラ カムイニスクアン ヒネ  
 ora kamuynisuk=an hine  
 こんど 神に頼む(私) して

と神に頼んで

“ サマ タ セコロ<sup>31</sup> カムイ オハ カムイ<sup>32</sup>  
 “ samata sekor kamuy oha kamuy  
 傍ら に このような? 神 留守番の 神

「傍らのこの神、留守を守る木幣

30 人間とクマは直接は会話できない。そこで、人から神へは主に「祈り」を通してメッセージを伝えるが、神から人へのメッセージは、多くの場合、夢を通して知らされる。この物語でも、主人公の身の回りで不思議なことが続いたので、それについて神意をただしたもの。また、クマを山で仕留めた場合、通常ならクマ神を神の国へ送るための何らかの儀式を行うが、それが人を襲ったような悪いクマであれば、二度とこの世へ姿を現さないように罰を受けて地獄へ落とされる。この場面ではまだその判断がつかないので、仮に話し相手の神を立てて一時的な対応を任せ、神に事情を聞いた上で判断を下すこととした。

31 用法が不明。セコロ アン カムイ sekor an kamuy 「かかる神」[久 766] と同じか。

32 オハ カムイ oha kamuy 「留守番の神」とは、文字通りその場を一時的に離れなければならない時に留守番を頼む木幣。狩りのほか、旅や出征などで家を空ける時にも立てることがある。チセコロカムイ cisekorkamuy (家の守り神) などとほぼ同じ形をしているが、チセコロカムイ cisekorkamuy が家の主人が亡くなるまで長期に祭る神であるのに対し、オハ カムイ oha kamuy は留守中という短期に祭る神。この場面では一旦クマ神を猟場に置いて離れるので、話し相手としてその場で作って立てた。[集大成] ではネウサラカムイ newsar kamuy 「話し相手の神」と呼んでいる。人を呼んできて後から獲物を運ぶ。与えた役目によって呼び名も変わる。チニスッカムイ cinisuk kamuy (人が頼む神) と呼ばれる木幣の一種と思われる。

ウウエネウサラ ワ オカ ヤク ピリカ。  
 uwenewsar wa oka yak pirka.  
 よもやま話をし て いる と いい

と話をしてみてください。

エネ イキアニ カ エランペウテク  
 ene iki=an \_hi ka erampewtek  
 どう する(私) べきかも わからない

どうしていいかわからない

435 クス ネ ナ。  
 kusu ne na.  
 します よ

のです」

セコロ ハウエアナン コロ  
 sekor hawean=an kor  
 と 言う(私) ながら

と私は言って

カムイニスクアン<sup>33</sup> ヒネ  
 kamuynisuk=an hine  
 神に頼む(私) して

神の木幣を作って

サマ タ アアヌ ヒネ アアシ ヒネ  
 sama ta a=anu hine a=asi hine  
 そば に (私)置いて (私)立て て

傍らに立て

オラ エカン ヒネ  
 ora ek=an hine  
 こんど 来る(私) して

それから帰って来て

440 ネ ポン メノコ ウニ タ エカン ヒネ  
 ne pon menoko uni ta ek=an hine  
 その 若い 娘 の家 に 来る(私) して

その女性の家に戻りました。

オラ ネ ニポ ネ ホロケウ ノカ  
 ora ne nipo ne horkew noka  
 こんど その 木彫り の オオカミ 人形

例の木彫りのオオカミを

ネア ポン メノコ アコレ アクス ウク ヒネ  
 nea pon menoko a=kore akusu uk hine  
 その 若い 娘 (私)与え たところ 取っ て

女性に渡すと、その女性は受け取って

ウプソロ オマレ カ キ ルウエ ネ ヒネ オラ  
 upsor omare ka ki ruwe ne hine ora  
 懐 に入れ も するの だ そして こんど

懐に入れました。

“タネ ホシピアン カ  
 “tane hosipi=an ka  
 もう 戻る(私) も

「もう家に帰るのも

445 タネ シットケシ クス  
 tane sittokes kusu  
 もう 日が暮れる ので

暗くなったので

33 カムイニスクアン kamuynisuk=an 話し相手の神を作ることをさしている。

スイ レウシアン クス ネ”  
 suy rewsian kusu ne”  
 また 泊る(私) します

また泊まります」

セコロ ハウエアナン コロ  
 sekor hawean=an kor  
 と 言う(私) ながら

と私は言って

レウシアン ヒネ  
 rewsian hine  
 泊る(私) して

そこに泊まりました。

メノコ スケ ワ  
 menoko suke wa  
 女性 炊事し て

女性が料理をして

450 イペアン カ キ ヒネ オラ  
 ipe=an ka ki hine ora  
 食事する(私) も し て こんど

食事をし

レウシアン ルウエ ネ クス  
 rewsian ruwe ne kusu  
 泊る(私) こと だ から

泊まって

ホツケアン ?? ワ  
 hotke=an ?? wa  
 寝る(私) して

眠ると

ウエンタラプアン ルウエ ネ アクス  
 wentarap=an ruwe ne akusu  
 夢を見る(私) こと だっ たところ

夢を見ました。

カムイ ネ クス コラチ アン  
 kamuy ne kusu koraci an  
 神 だ から らしく ある

神にふさわしい姿をした

455 オアラ<sup>34</sup> オツカイポ アン ヒネ  
 oar okkaypo an hine  
 全く 若い男性 い て

立派な若者がいて

エネ ハウエアニ。  
 ene hawean\_hi.  
 このように言った

このように言いました。

“タン オツカイポ イタカン チキ  
 “tan okkaypo itak=an ciki  
 これ 若い男性 言う(私) したら

「これ若いお方、私の言うことを

エイヌ カトウ アナク エネ アニ。  
 e=inu katu anak ene an\_hi.  
 (お前)聞く 事情 は こうである

お聞きください。

34 オアラ スクブ オツカイポ oar skup okkaypo (立派な若者) と言おうとしたものか。

ヌプリ コロ カムイ セコロ アイェ ヤツカ  
 nupuri kor kamuy sekor a=ye yakka  
 山 の 神 と (人)言っ ても

山を治めるクマ神と言っても

460 アオナハ イヨッタ シパセ カムイ ネ ワ  
 a=onaha iyotta sipase kamuy ne wa  
 (私の)父 一番 尊い 神 であっ て

父は一番偉い神で

アポホ アネ ヒネ アナン。  
 a=poho a=ne hine an=an.  
 (私)息子 (私)であっ て いる(私)

私はその息子です。

アユピヒ カ アン アサ カ アン ヒネ  
 a=yupihi ka an a=sa ka an hine  
 (私の)兄 も いる (私の)姉 も い て

兄も姉もいて

イヨッタ ポン ペ ネ ワ  
 iyotta pon pe ne wa  
 一番 若い もの であっ て

一番年下が

アナン ペ ネ ア プ  
 an=an pe ne a p  
 いる(私) もの だっ た が

私でした。

465 マク ネ ワ ネ ヤ ポンラム ワノ  
 mak ne wa ne ya ponram wano  
 どう し て だ か 小さい時 から

一体どうしてか、幼いころから

タン ポン メノコ アエヤイカツカラ<sup>65</sup>  
 tan pon menoko a=eyaykatkar  
 この 若い 娘 (私)好きになる

この娘のことが好きで

カムイ オツ タ アナン ワ  
 kamuy or\_ ta an=an wa  
 神 の所 で 暮らす(私)して

私は神の国にいて

カムイ オロ ワ アヌカラ ヤツカ  
 kamuy oro wa a=nukar yakka  
 神 の所 から(私)見る が

そこから見ていましたが

アエヤイカツカラ。  
 a=eyaykatkar.  
 (私)好きになる

恋しくて

470 ネウン カ アカラ ワ トウラノ アナン  
 neun ka a=kar wa turano an=an  
 どうに か (私)し て 一緒に 暮らす(私)

何とかして一緒になりたい

クス ネ セコロ アン ペ パテク ヤイヌ  
 kusu ne sekor an pe patek yaynu  
 しよう と いう こと ばかり 思う

とばかり思って

ネ ヤ アン コロ アナン ペ ネ ア プ  
 ne ya an kor an=an pe ne a p  
 だ とかい ながら いる(私) もの だった が

いたのでした。

ラポッケ オラ イシカラ ホントム ウン  
 rapokke ora Iskar hontom un  
 そのうちに こんど 石狩川 中流 に

やがて石狩川の中流<sup>36</sup>に

イコ… コシマツ ネ アン ヒ アヌカラ ヤツカ  
 iko... kosmat ne an hi a=nukar yakka  
 嫁 に なる こと (私)見て も

嫁に行ったのを見てからも

475 ネウン ネ ヤツカ ネ メノコ  
 neun ne yakka ne menoko  
 どう で も その 女性

何とかしてその娘が

アコン ルスイ ワ オラノ  
 a=kor\_rusuy wa orano  
 (私)持ち たく て それから

欲しくて

エネ ケサンチカラ アン コロ アコロ…  
 ene kes ancikar an kor akor…  
 このように 毎 晩 になる と

毎晩

アコイワク<sup>37</sup> ヒ ネ ヤツカ  
 a=koiwak hi ne yakka  
 (私)通う こと で も

私が娘のもとへ通えるように

ネ イシウトホ ネ ヤツカ  
 ne isiwtoho ne yakka  
 その しゅうと で も

娘の義父に

480 アヤイヌレ アニ テ タ エク ワ  
 a=yaynure ani te ta ek wa  
 (私)思わせる それで ここに 来 て

暗示をかけてここに来させ

チセカラ カ キ ヒネ  
 cisekar ka ki hine  
 家作り も し て

家を作らせ

オロ タ ネ コシマチ ルラ ルウエ ネ プ  
 oro ta ne kosmaci rura ruwe ne p  
 そこ で その 嫁 を連れ出す の だ が

そこに嫁を連れ出させて

オラノ アコイワク  
 orano a=koiwak  
 それから (私)通う

通ったのです。

36 事件の起きた村が石狩川の中流にあるとここで語られ、以下の語りでもそれは一貫している。物語の前段で主人公が「川をさかのぼって行き村を訪問した」とあるので、主人公の村は石狩川の下流域にあるということになる。

37 コイワク koiwak 訪ねる. hoku ~ 夫訪ひをする. mat ~. [久] / (~へ) 通う. ホクコイワク=男の所へ通う. マッコイワク=女の所へ通う. [萱] / ~へ仕事を終えて帰る [奥]。本文中のケサンチカラ アン コロ アコイワク ヒ kes ancikar an kor a=koiwak hi は、「毎晩私が通う場所」の意味。

ネ シウトホ ネ ヤツカ  
ne siwtho ne yakka  
その しゅうと で も

義父が

485 ネプ カ ウエイサンペコロ ワ  
nep ka weysampekor wa  
何 も 悪い心を持って て

何か悪い心を持って

コシマチ ルラ ヒ カ ソモ ネ。  
kosmaci rura hi ka somo ne.  
嫁 連れ出すことも しない

嫁を連れ出したのではありません。

アヤイヌレ アニ  
a=yaynure ani  
(私)思わせる で

私が暗示をかけて

コシマチヒ キモルラ ルウェ ネ コロカ  
kosmacihi kimorura ruwe ne korka  
嫁 山に連れて行く の だ けれど

嫁を山に連れて来させたのです。しかし

オラノ ケシ アンチカラ アン コロ  
orano kes ancikar an kor  
それから 毎 晩 になる と

それから毎晩

490 アコイワク ヤツカ  
a=koiwak yakka  
(私)通っ ても

私は通いましたが

ネプ カ サク ペ ネ クナク アラム ア プ  
nep ka sak pe ne kunak a=ramu a p  
何 も ない もの だ と (私)思っ た が

何もないと思っていたのですが

エネ ニポ ネ ホロケウ  
ene nipo ne horkew  
こう 木彫り の オオカミ

このように木彫りのオオカミに

シエプンキレ<sup>38</sup> コロ カネ  
siepunkire kor kane  
自分を守らせ ながら

守らせて

アン ペ ネ アアン ヒネ オラノ  
an pe ne aan hine orano  
いる の だ ったのだ そして こんど

いたのです。そして

495 ケシ アンチカラ アン コロ  
kes ancikar an kor  
毎 晩 になる と

毎晩

サナン コロ イエミク ワ  
san=an kor i=emik wa  
下る(私) と (私に)吠え て

私が下りていくと吠えて

38 シエプンキネ siepunkinere (自分を守らせる) と言おうとしたのであろう。

ネ メノコ サマ タ アコイワク ア コロカ  
 ne menoko sama ta a=koiwak a korka  
 その 女性 のそば に (私)通っ た けれど

その娘のもとに通っても

サマ タ アラパアン カ エアイカプ ノ  
 sama ta arpa=an ka eaykap no  
 そば に 行く(私) も できない で

そばに近づくこともできずに

ネ セタ イエミク ワ  
 ne seta i=emik wa  
 その 犬 (私に)吠え て

その犬が私に吠えて

500 アエシリキラプ コロ アナン  
 a=esirkirap kor an=an  
 (私)苦勞し て いる(私)

困っていたのです。

ラポッケ オラ  
 rapokke ora  
 そのうちに こんど

そうこうするうちに

アイヌ メノコ アコイワク ヒ  
 aynu menoko a=koiwak hi  
 人間 女性 (私)通う こと

人間の女性の所に通っていることを

アオナ ウタラ エラムオカ ワ オラノ  
 a=ona utar eramuoka wa orano  
 (私の)父 たち それがわかつ て それから

父たちに知られ

イコパシロタ ネ ヤ イキツキク ネ ヤ  
 i=kopasrota ne ya i=kikkik ne ya  
 (私を)ののしる だ とか (私を)殴る だ とか

私は叱られるやら叩かれるやら

505 アウニ タ ホシピアン ヤッカ  
 a=uni ta hosipi=an yakka  
 (私の)家 に 帰る(私) しても

家に帰っても

イペアン カ エアイカプ ノ  
 ipe=an ka eaykap no  
 食事する(私) も できない で

私は食事もできずに

アオナ ウタラ イコイキ ワ  
 a=ona utar i=koyki wa  
 (私の)父 たち (私)いじめる して

父たちに責められて

イペ ポカ… ヤッカ アエシリキラプ コロ  
 ipe poka... yakka a=esirkirap kor  
 食事 さえ も (私)苦勞し て

食事もできずに

アナン ルウエ ネ コロカ  
 an=an ruwe ne korka  
 いる(私) の だ けれど

いたのですが

510 ネウン ネ ヤッカ ネ タン メノコ  
 neun ne yakka ne tan menoko  
 どう で も その この 女性

何とかしてこの娘が

アコン ルスイ ペ ネ クス  
 a=kor\_ rusuy pe ne kusu  
 (私)持ち たい もの だ から

欲しくて

アエヤイラムカラ<sup>39</sup> カ ソモ キ ノ  
 a=eyayramikar ka somo ki no  
 (私)あきらめ も しな い で

あきらめられずに

アナン ルウエ ネ ア プ  
 an=an ruwe ne a p  
 いる(私) の だ っ た が

いたのです。なのに

エネ エエク ワ エアン ヤ カ  
 ene e=ek wa e=an ya ka  
 こう (お前)来 て (お前)いる か も

こうしてあなたが来ているとも

515 アエラミシカリ ノ  
 a=eramiskari no  
 (私)知らない で

知らず

カムイ イコイパク ペ ネ クス… ヤ カ  
 kamuy i=koypak pe ne kusu... ya ka  
 神 (私を)罰する もの だ から か も

神から罰を受けるとも

アエラミシカリ ノ  
 a=eramiskari no  
 (私)知らない で

知らずに

スイ タヌクラン アナクネ セコロ  
 suy tanukuran anakne sekor  
 また 今夜 こそは と

また今夜こそはと

ヤイヌアン コロ サナン ア プ  
 yaynu=an kor san=an a p  
 思う(私) ながら 下っ(私) た のに

思って山を下りたら

520 エネ エアン ヒネ  
 ene e=an hine  
 こう (お前)い て

こうしてあなたがいて

イシリコチヨツチャ ワ  
 i=sirkocotca wa  
 (私を)強く射 て

あなたにこてんぱんに討たれて

オラ カムイ オツ タ  
 ora kamuy or\_ ta  
 こんど 神 の所 に

神のところに

アラパアン ルウエ ネ コロカ  
 arpa=an ruwe ne korka  
 行く(私) の だ けれど

帰ったのですが

39 エヤイラムカラ eyayramkar…をあきらめる。[田] / エヤイラムキツカラ e-yay-ramu-kik-kar 諦める [萱/奥]

- アオナ ウタラ イコイキ ワ  
a=ona utar i=koyki wa  
(私の)父 たち (私を)いじめ て  
父たちは私を責めて
- 525 アオナ ウタラ サマ タ カ オロ タ カ  
a=ona utar samata ka oro ta ka  
(私の)父 たち のそば に も そこ に も  
父たちに近寄ることも
- アフナン カ エアイカプ ノ  
ahun=an ka eaykap no  
入る(私) も できない で  
家に入れてもらうこともできずに
- アイコイキ ワ アナン ルウエ ネ クス  
a=i=koyki wa an=an ruwe ne kusu  
(人が私を)いじめ て いる(私) の だ から  
いるのです。
- タネ… ネウン ネ ヤツカ  
tane... neun ne yakka  
今はもう どう で も  
今はどうしても
- タネ アナクネ ネ メノコ  
tane anakne ne menoko  
今 は その 女性  
この女性が
- 530 アコオンルプシ ペ ネ ア コロカ  
a=koonrupus pe ne a korka  
(私)非常に欲しがる もの だった けれど  
欲しいというわけではなく
- タネ アエヤイラミカラ クス  
tane a=eyayramikar kusu  
もう (私)あきらめる ので  
もうあきらめたので
- カムイ オルン  
kamuy or un  
神 の所 に  
(神の国に)
- アコロ マラット カ エコロ ワ  
a=kor maratto ka e=kor wa  
(私)の 頭骨 も (お前)持って  
私の頭をあなたは持って<sup>40</sup>
- コタン オルン エサン ワ  
kotan or un e=san wa  
村 の所 に (お前)下り て  
村に下りて
- 535 カムイ オルン アオナ ウタラ エウン  
kamuy or un a=ona utar eun  
神 の所 に (私の)父 たち へ  
クマ神の父たちのもとへ
- イサム エソンコクシテ ワ イコレ  
i=sam e=sonkokuste wa i=kore  
(私の)そば (お前)話を通し て (私)にくれる  
行けるように口添えして

40 ぎよっとする表現だが、要は悪いクマとして罰するのではなく、クマの霊送りの儀式を執り行って、祭壇に頭骨を祭ってくだ  
さい、ということ。

ヤク ピリカ ナ。  
yak pirka na.  
と 良い よ

ください。

タネ アナクネ ネ メノコ  
tane anakne ne menoko  
今 は その 女性

もうこの女性のことは

アエヤイラミカラ クス ネ ナ”  
a=eyayramikar kusu ne na”  
(私)あきらめ ます よ

あきらめます」

540 セコロ ハウエアン ウェンタラプ アキ ヒネ  
sekor hawean wentarap a=ki hine  
と 言う 夢見 (私)し て

と言った夢を見ました。

エアラキンネ ネ カムイ ネ ヤツカ  
earkinne ne kamuy ne yakka  
本当に その クマ で も

本当にそのクマ神も

アケムヌ カ キ ヒネ オラ  
a=kemnu ka ki hine ora  
(私)同情し も し て こんど

かわいそうだと思いました。

レウシ アナン ヒネ オラ イシムネ  
rewsi an=an hine ora isimne  
泊る いる(私) して こんど 翌日

一晩泊まって翌日

ネア ポン メノコ アトウラ オラ  
nea pon menoko a=tura ora  
その 若い 娘 (私)連れる こんど

その女性を連れて

545 ネ ポンペ アナクネ アカイ カネ ヒネ  
ne ponpe anakne a=kay kane hine  
その 小さい子 は (私)背負ったままで

その子供は私がおぶって

アトウラ ヒネ サパン ルウエ ネ ヒネ  
a=tura hine sap=an ruwe ne hine  
(私)連れ て 下る(私) の です そして

一緒に山を下りました。

ペツペシ サパン ヒネ  
petpes sap=an hine  
川に沿って 下る(私) して

川に沿って下って行って

タネ コタン カランケアン ルウエ ネ アクス  
tane kotankaranke=an ruwe ne akusu  
もう 村が近くなる(私) こと だっ たところ

やがて村が近づくと

ナニ ホシキノ ネア ポン メノコ  
nani hosokino nea pon menoko  
すぐに 先に あの 若い 女性

真っ先にその女性が

550 ホユプテツテク ヒネ サン ヒネ  
hoyuptettek hine san hine  
さっさと走っ て 下っ て

駆け下りて行きました。

オシ サブ… サナン ルウエ ネ アクス  
 os sap... san=an ruwe ne akusu  
 その後 下る 下る(私) こと だっ たところ

後から私が出て行くと

ネ ウニ タ アフン ワ オラノ  
 ne uni ta ahun wa orano  
 その 家 に 入っ て それから

その家に女性が入って

ネ イシウトホ ウタラ ネ ヤ  
 ne isiwtoho utar ne ya  
 その しゅうと たち で も

義父母や

ネ オツカイポ トウラノ  
 ne okkaypo turano  
 その 若い男性 と一緒に

夫と一緒に

555 ウコパラパラクパ ハウ  
 ukoparaparakpa haw  
 互いに大泣きする 声

涙ながらに再会を喜ぶ声が

シエトク ウン アヌ コロ  
 sietok un a=nu kor  
 自分の行く手 に (私)聞き ながら

家の外にも聞こえました。

パツカイアン カネ ヒネ  
 pakkay=an kane hine  
 背負う(私) したままで

私が子供をおんぶして

アフナン ルウエ ネ アクス  
 ahun=an ruwe ne akusu  
 家に入る(私) こと だっ たところ

入っていくと

オラノ ネ オンネ ウタラ ネ ヤツカ  
 orano ne onne utar ne yakka  
 それから その 老人 たち で も

その老父母も

560 オツカイポ ウタン ネ ヤツカ  
 okkaypo utar\_ ne yakka  
 若い男性 たち で も

息子も

イエヤイコブンテク  
 i=eyaykopuntek  
 (私を)喜ぶ

喜んで

パツカイアン カネ プ ネ クス  
 pakkay=an kane p ne kusu  
 背負う(私) まま もの だ から

私がおぶっていた

ネ ポイソン ネ ヤツカ ウコラライパ コロ  
 ne poyson ne yakka ukoraraypa kor  
 その 小さい子 で も 皆でなで ながら

子供を抱き寄せて

ウコパラパラクパ ルウエ ネ  
 ukoparaparakpa ruwe ne  
 皆で大泣きする の です

みんなで泣いていました。

565 ヒネ オラ エアシリ

hine ora easir

そして こんど 改めて

やがて私はこう言いました。

“ タプネ タプネ ネ ワ キムンカムイ

“tapne tapne ne wa kimunkamuy

かくかく しかじか で クマ神

「このようなわけで、クマの神が

ネ メノコ カテオマレ ワ

ne menoko kateomare wa

あの 女性 を好きになっ て

この娘を好きになり

キム タ その イシウトネ ニシパ

kim ta その isiwtone nispa

山 に その しゅうと さん

義父にあたる旦那さんが

キモルラ ワ…ネ ア コロカ

kimorura wa ne a korka

山に連れ て だっ た けれど

山に連れ出したのですが

570 ネ シウトホ ネ ヤツカ

ne siwtoho ne yakka

その しゅうと で も

そのお義父さんが

ウェン ケウトウム コロ ワ カ ソモ ネ。

wen kewtum kor wa ka somo ne.

悪い 心 持っ て も いない

悪だくみをしたわけではありません。

カムイ オロワ

kamuy orowa

神 から

クマに

エネ アヤイヌレ ワクス

ene a=yaynure wakusu

このように (人)思わせられた ので

操られて

キモルラ ヒ ネ クス

kimorura hi ne kusu

山に連れ出す の だ から

山に連れ出したので

575 ネ シウトホ ネ ヤツカ

ne siwtoho ne yakka

その しゅうと で も

お義父さんを

イテキ エチウエンノイエパ ソモ<sup>(41)</sup> キ

iteki eci=wennyepa somo ki

決して (あなたたち)悪く言う しない

決して責めないで

ヤク ピリカ ナ”

yak pirka na”

と いい よ

あげてください」

41 イテキ iteki (～するな) と言ってからソモ somo (～しない) と否定辞を重ねることは普通しないが、ここではつい言ってしまったのだろう。

セコロ ネ ヤ ウェンタラプ オツ タ  
 sekor ne ya wentarap or\_ ta  
 と だ とか 夢 の中 で

と言って、夢で

カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス  
 kamuy ye wa a=nu p ne kusu  
 クマ 言っ て (私)聞く ものだ から

クマ神から聞いたことを

580 タプネ タプネ ネ イ アイェ ワ オラノ  
 tapne tapne ne \_hi a=ye wa orano  
 このようなわけ だ こと (私)言っ て こんど

説明しました。

ネ シウトホ ネ ヤツカ ヤイコパシロタ ワ  
 ne siwtho ne yakka yaykopasrota wa  
 その しゅうと で も 自分を叱っ て

その義父も反省して

“エネ タプネ アラム プ  
 “ene tapne a=ramu p  
 このように (私)思う のに

「心ならずも

アコシマチ ネ ア プ  
 a=kosmaci ne a p  
 (私の)嫁 だっ た のに

私の嫁だというのに

エネ アカラ ペ アネ。  
 ene a=kar pe a=ne.  
 こう (私)する もの (私)だ

とんでもないことをしてしまった。

585 アキモルラ ワ オラノ オウタシパ ワ  
 a=kimorura wa orano outaspa wa  
 (私)山へ連れ出し て それから 置き去りにし て

山に連れ出し置き去りにして

ウコシリキラプアン コロ オカアン ヤク  
 ukosirkirap=an kor oka=an yak  
 互いに苦勞をする(人) ながら 暮らす(人) と

苦勞させていたのを

アエラミシカリ ワ アン イ アン”  
 a=eramiskari wa an \_hi an”  
 (私)知らない で いる こと ある

知らずにいたとはなあ」

セコロ ハウエアン コロ  
 sekor hawean kor  
 と 言い ながら

と言って

ネ シウトホ ネ ヤツカ  
 ne siwtho ne yakka  
 その のしゅうと で も

義父は

590 ヤイコパシロタ ネ ヤ キ コロ オラ  
 yaykopasrota ne ya ki kor ora  
 自分を叱る など し ながら こんど

自分を戒めました。

コタン オルン ウタラ カ  
 kotan or un utar ka  
 村 の所 の 人たち も

村人たちも

アラキパ ワ オラノ ウオウコ…  
arkipa wa orano uouko…  
来 て それから

来て

ネ メノコ ケウエホムス ネ ヤ  
ne menoko kewehomsu ne ya  
その 女性 の無事を喜ぶ など

その女性の無事を喜んで

イコヤイライケ ヒ ネ ヤ  
i=koyayrayke hi ne ya  
(私)に感謝する ことだ とか

私に感謝の言葉を

595 イエ ロク イエ ロクパ コロ オラ  
ye rok ye rokpa kor ora  
何度も言い ながら こんど

口々に言いました。

タプネ カネ  
tapne kane  
こうであっ て

「このようなわけで

ネ カムイ コタン オルン アサンケ  
ne kamuy kotan or un a=sanke  
あの クマ 村 の所に (私)下ろす

そのクマを村に下ろす

クス ネ ヒ アイエ プ ネ クス  
kusu ne hi a=ye p ne kusu  
つもり だ と (私)言う ものだ から

つもりです」と私が言うと

コタン コロ ウタラ イトウラ ヒネ オラ  
kotan kor utar i=tura hine ora  
村 の 人たち (私)伴っ て こんど

村人たちが同行してくれて

600 イシムネ インネ ウタツ トウラノ  
isimne inne utar\_ turano  
翌日 大勢 人たち と一緒に

翌日、大勢で

キム タ パイエアン ヒネ  
kim ta paye=an hine  
山 に 行く(私) して

山に行き

ネ カムイ アリ ワ  
ne kamuy a=ri wa  
あの クマ (私)解体して

そのクマを解体して

コタン コロ ウタラ オピッタ セ ワ  
kotan kor utar opitta se wa  
村 の 人たち みんな 背負っ て

村人総出で背負い

オラ ヤイカタ アナクネ  
ora yaykata anakne  
こんど 自分 は

自分でも

605 ネア カムイ サパ オルシクル マラット  
nea kamuy sapa oruskur maratto  
あの クマ の頭 毛皮のついた 頭骨

クマの頭、毛皮のついた頭を

ヤイカタ アセ カネ ヒネ  
 yaykata a=se kane hine  
 自分で (私)背負い も して

背負って

コタン オルン サパン  
 kotan or un sap=an  
 村 の所に 下る(私)

村へ下りました。

ヒネ オラ エアシリ  
 hine ora easir  
 して こんど 本当に

そうして

コタン オルン ウタラ エウカスイ ワ  
 kotan or un utar eukasuy wa  
 村 の所 の 人たち と助け合っ て

村人たちと手分けして

610 イナウ ネ ヤ サケ ネ ヤ アカラ ワ  
 inaw ne ya sake ne ya a=kar wa  
 木幣 だ とか 酒 だ とか (私)作っ て

木幣や酒を作ってクマ送りの準備をしました。

“ネ カムイ ネ ヤツカ アツパケ タ  
 “ne kamuy ne yakka atpake ta  
 そのクマ で も 初め に

「そのクマ神も初めこそ

メノコ コオンルプシ ワ  
 menoko koonrupus wa  
 女性 を好きになっ て

人間の女性を好きになった

シリキラプ ア コロカ  
 sirkirap a korka  
 苦労し た けれど

困り者でしたが

ヤイカタ ウエン ヒ イェ ア ヒ  
 yaykata wen hi ye a hi  
 自分 悪い こと 言っ た こと

自分が悪かったと言っていて

615 アエランポキウエン ワ  
 a=erampokiwen wa  
 (私)気の毒に思っ て

かわいそうなので

ネ カムイ ネ ヤツカ  
 ne kamuy ne yakka  
 そのクマ で も

そのクマ神も

オナハ ウタラ エウン ネ ヤツカ  
 onaha utar eun ne yakka  
 その父 たち に で も

父神たちのところで

イテキ コイキ ノ<sup>42</sup> ポ… キ ヤク ピリカ。  
 iteki koyki no po... ki yak pirka.  
 決して いじめず に すると 良い

決していじめられないようにしてください。

42 人の役に立って祭られることで神格を高める。逆の場合は神の世界で他の神々から非難され、軽んじられて神の末席に追いやられる。

カムイ ネ ヤツカ  
kamuy ne yakka  
神 で も

神でも

620 アイヌ ネ ヤツカ アン ペ  
aynu ne yakka an pe  
人間 で も ある もの

人間でも

ウコヤイカツカラ ペ ネ ナ。  
ukoyaykatkar pe ne na.  
互いに恋をする もの だ よ

恋はするものです。

テ ワノ アナクネ ネ イポネ  
te wano anakne ne ipone  
これ から は その 息子である

これからは

アイヌ メノコ コオンルプシ ア  
aynu menoko koonrupus a  
人間 女性 に恋をし た

人間の娘を好きになった

カムイ ネ ヤツカ  
kamuy ne yakka  
クマ で も

クマの神様も

625 カムイ ネ クス カムイ メノコ  
kamuy ne kusu kamuy menoko  
クマ だ から クマ 女性

クマ神なのでクマ神の女性と

エウタンネ ヤク ピリカ ナ”  
eutanne yak pirka na”  
と結婚する と 良い よ

結婚してください」

セコロ アン ペ アイェ コロ  
sekor an pe a=ye kor  
と いう こと (私) 言い ながら

と私は言って

カムイノミアン ペ ネ クス  
kamuynomi=an pe ne kusu  
神に祈る(私) もの だ から

神に祈ったので

エアラキンネ ネ オカ ウタラ  
earkinne ne oka utar  
本当に その いる 人たち

その場にいた人たちは

630 イヨクンヌレ コロ  
iyokunnure kor  
驚き ながら

本当に驚いて

カムイノミアン ロク アン ロク ヒネ  
kamuynomi=an rok an rok hine  
何度も神に祈る(私たち) して

何度も神に祈りました。

アクス オラ ネア… エアンチカラ  
akusu ora nea... eancikar  
すると こんど その その夜

するとその夜

スイ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス  
 suy wentarap=an ruwe ne akusu  
 また 夢を見る(私) こと だったところ

私は夢を見ました。

ネア アシリ サパ トウイェ<sup>43</sup> カネ アン  
 nea asir sapa tuye kane an  
 あの 新しい 頭 刈る して いる

新しく髪を切りそろえた

635 カムイ オツカイポ  
 kamuy okkaypo  
 神 男性

神の男性が

ミナ カスノ ミナ カネ ヒネ  
 mina kasuno mina kane hine  
 笑い にもまして 笑い ながら そして

満面の笑みを浮かべながら

“アイヌ ヘタプ エネ ワ  
 “aynu hetap e=ne wa  
 人間 でも (お前)である して

「人間であるあなたが

エアン クシケライポ… ワ  
 e=an kuskeraypo... wa  
 (お前)いる おかげ して

いたおかげです。

アオナ ウタラ カ イコプンテク ネ ヤ  
 a=ona utar ka ikopuntek ne ya  
 (私の)父 たち も 喜ぶ だ とか

父たちから

640 イコイキ…  
 i=koyki…  
 (私に)をいじめる

エネ イコイキ ア コロカ  
 ene i=koyki a korka  
 こう (私を)いじめ た けれど

いろいろ叱られました

イコプンテク ネ ヤ キ ワ… ルウエ ネ クス  
 ikopuntek ne ya ki wa... ruwe ne kusu  
 喜ぶ だ とか して の だ から

喜んでくれたので

テ ワノ アナクネ ネ カムイ オルン  
 te wano anakne ne kamuy or un  
 ここから は その 神 の所で

これからは神の国で

カムイ メノコ アエウタンネ クス ネ  
 kamuy menoko a=eutanne kusu ne  
 神 女性 (私)結婚する つもりだ

神の女性と結婚するつもりです。

645 オラ ネ アコオンルプシ ア  
 ora ne a=koonrupus a  
 こんど あの (私)好きになっ た

私が好きになった

43 クマの送り儀礼では、所定の方法で頭骨を整えてもらう(ウンムケ unmemke 頭部の解体)。すると神の世界へ行ったクマ神はきれいに整髪された姿になり、大いに満足すると考えられている。

メノコ ネ ヤツカ  
menoko ne yakka  
女性 で も

人間の女性も

カムイ オロ ワ アエプンキネ  
kamuy oro wa a=epunkine  
神 の所 から (私)守る

神の国から私が見守り

エチオカ ネ ヤツカ  
ecioka ne yakka  
お前たち で も

あなたたちも

エプンキネ ワ エチ…  
epunkine wa eci…  
守っ て (お前たち)

見守って

650 ネプ エシリキラプ ソモ キ クニ ネ  
nep esirkirap somo ki kuni ne  
何 苦勞 しない ように

何も困ることがないように

カムイ オロ ワ  
kamuy oro wa  
神 の所 から

神の国から

アエチ… アエプンキネ<sup>44</sup> クス ネ ナ。  
aeci… a=epunkine kusu ne na.  
(私)守る つもり だ よ

あなたたちを守ってあげましょう。

オラ エネ アコオンルプシ ペ  
ora ene a=koonrupus pe  
こんど こう (私)好きになる もの

私が好きになったのが

アイヌ メノコ ネ ア クス  
aynu menoko ne a kusu  
人間 女性 だっ た ので

人間の娘であったので

655 アイヌ メノコ オロ ワノ  
aynu menoko oro wano  
人間 女性 の所 から

人間の娘のところから

カムイ オルン  
kamuy or un  
神 の所 へ

神へ

リクン カント ウン カムイ エカシ  
`rikun kanto un kamuy ekasi  
高みの 天 の 神 おじいさん

『天の神の国にいるクマ神のおじいさんを

アノミ ナ  
a=nomi na'  
(私)祭る よ

祭ります』

44 北海道大学の高橋靖以氏に、上田さんがエチア eci-=a= の人称を使われた例が他にもあることをご教示いただいた。

セコロ エチハウエオカ コロ  
 sekor eci=haweoka kor  
 と (お前たち)言い ながら

と言って

660 エチカムイノミ ワ イコレ  
 eci=kamuynomi wa i=kore  
 (お前たち)神に祈っ て (私に)くれる

あなたたちは祈ってください。

ヤクン サスイシリ パクノ  
 yakun sasuyisir pakno  
 ならば 未代 まで

そうすればいつまでも

エチアエプンキネ クス ネ ナ”  
 eci=a=epunkine kusu ne na”  
 (あなたたち)を守る つもり だ よ

あなたたちを守ってあげましょう」

セコロ アン ウェンタラプ アキ ルウエ ネ  
 sekor an wentarap a=ki ruwe ne  
 と いう 夢見 (私)する の です

という夢を私は見ました。

イネ タブネ… ネ ヒ アイェ ワ オラノ  
 \_hine tapne... ne hi a=ye wa orano  
 そして このよう その こと (私)言っ て から

そのことを言うと

665 ネ シウトホ ウタン ネ ヤッカ  
 ne siwtho utar\_ ne yakka  
 あの しゅうと たち で も

その女性の義父や

ネア オッカイポ ネ ヤッカ  
 nea okkaypo ne yakka  
 あの 若い男性 で も

夫は

イコヤイライケ ヒ  
 i=koyayrayke hi  
 (私に)感謝する こと

私に感謝の言葉を

イエ ロク イェ ロクパ ヒネ オラ  
 ye rok ye rokpa hine ora  
 何度も言っ て こんど

何度も言いました。そして

タネ トウツコ カ レレコ カ  
 tane tutko ka rerko ka  
 もう 2日 も 3日 も

もう2日も3日も

670 ホシピアン カ ソモ キ プ ネ クス  
 hosipi=an ka somo ki p ne kusu  
 帰る(私) も しない ものだ から

家に帰っていないので

ホシピアン クナク アイェ コロ  
 hosipi=an kunak a=ye kor  
 帰る(私) と (私)言い ながら

家に帰ります、と言って

アウニ タ サパン…  
 a=uni ta sap=an…  
 (私)の家 に 下る(私)

私は自分の家に

サナン ルウエ ネ アクス アオナハ  
 san=an ruwe ne akusu a=onaha  
 下る(私) こと だっ たところ (私の)父

帰りました。すると父は

カムイオロイタク コロ アン ヒネ  
 kamuy'oroitak kor an hine  
 神に助けを求め て い て

神に助けてくださいと祈っていました。

675 オロ タ アフナン ルウエ ネ アクス  
 oro ta ahun=an ruwe ne akusu  
 そこ に 入る(私) こと だっ たところ

そこに入っていったので

イコパシロタ。  
 i=kopasrota.  
 (私を)叱る

私を叱りました。

“アウエンポホ ネウン カ アラパ ワ  
 “a=wenpoho neun ka arpa wa  
 (私の)悪い息子 どこへ か 行っ て

「親不孝者め。どこかに行って

ライ ワ イサム ルウエ ネ  
 ray wa isam ruwe ne  
 死ん で しまっ の だ

死んでしまったのだ

クナク アラム ワ  
 kunak a=ramu wa  
 と (私)思っ て

と違って

680 オラノ クンネ ヘネ トカプ ヘネ  
 orano kunne hene tokap hene  
 それから 夜 でも 昼 でも

夜も昼も

カムイ シセレマクシテアン ヒ  
 kamuy sisermakuste=an hi  
 神 自分の背後で守る(人) こと

神に守ってくださいと

アイエ コロ アナン ルウエ ネ ア プ  
 a=ye kor an=an ruwe ne a p  
 (私)言っ て いる(私) の だっ た が

言っていたのだが

エネ ルウエ ネ  
 e=ne ruwe ne  
 (お前)である の である

おまえなのか」

セコン ネ。  
 sekor\_ ne.  
 と 言う

と言いました。

685 タプネ タプネ ネ イ アイエ アクス オラノ  
 tapne tapne ne \_hi a=ye akusu orano  
 このようなわけ だ と (私)言っ たところ

私がこのようなわけでしたと言うと

イコイキ カ キ  
 i=koyki ka ki  
 (私を)叱る も する

私を叱りもしましたが

イコプンテク カ キ コロ アナン アイネ  
 i=kopuntek ka ki kor an=an ayne  
 (私を)喜ぶ も し ながら いる(私) したあげく

喜んでくれました。

オラ エアシリ ネ オツカイポ カ  
 ora easir ne okkaypo ka  
 こんど 初めて その 若い男性 も

そうするうちにあの(石狩の中流の)若者が

ヤヤツタサ ヤク イエ コロ サン ワ  
 yayattasa yak ye kor san wa  
 お礼をする と 言っ て 出 て

お礼を言いに来て

690 アオナハ カ ヌカラ ルウエ ネ ヒネ  
 a=onaha ka nukar ruwe ne hine  
 (私の)父 も 見る こと であって

父とも会いました。

オラノ アナクネ  
 orano anakne  
 それから は

それから

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ  
 nep a=esirkirap ka somo ki no  
 何 (私)苦勞する も しない で

何を困ることもなく

ウコパヨカアン コロ オカアン アイネ  
 ukopayoka=an kor oka=an ayne  
 互に行き来する(私達) ながら 暮らす(私) うちに

互に行き来をして暮らすうちに

アオナハ カ ウク カ オ… アオンネレ イネ  
 a=onaha ka uk ka o... a=onnere \_hine  
 (私の)父 も 取る も (人)死ぬ して

父も年老いて亡くなり

695 イシカラ ホントモ クル  
 Iskar hontomo kur  
 石狩川 の中流 の人

石狩の中流の

ニシパ ウタラ ネ ヤツカ  
 nispa utar ne yakka  
 長者 たち で も

旦那さんたちも

アオンネレ オカ タ  
 a=onnere oka ta  
 (人)死ぬ 後 で

亡くなりましたが、その後も

ペウレ ウタラ ネ オカアン ワ  
 pewre utar ne oka=an wa  
 若い 人たち で 暮らす(私) して

若い者たちで暮らして

ウコパヨカアン コロ オカアン アイネ  
 ukopayoka=an kor oka=an ayne  
 互に行き来する(私) ながら 暮らす(私) うちに

互に行き来をしているうちに

700 マツ カ アコロ ワ  
 mat ka a=kor wa  
 妻 も (私)持っ て

私も妻をもらって

ポシレシクテアン ワ  
posiresikte=an wa  
子供がたくさんできる(私) して

子供もたくさんできて

オンネアン ペ ネ アクス  
onne=an pe ne akusu  
年を取る(私) もの だっ たところ

年を取ったので

タップネ カネ ネ ワ  
tapne kane ne wa  
かくかくしかじか であって

「このようなわけで

イシカラ ホントモ コロ ニシパ トウラノ  
Iskar hontomo kor nispa turano  
石狩川 の中流 の 長者 と一緒に

石狩の中流の旦那さん

705 ウコトウイェ<sup>45</sup> コロ アン ペ ネ クス  
ukotuye kor an pe ne kusu  
互いに懇意にし て いる の だ から

と懇意にしているのだから

アポホ ウタラ ネ ヤッカ  
a=poho utar ne yakka  
(私の)息子 たち で も

息子たちも

ネイ パクノ オカ ヤッカ  
ney pakno oka yakka  
いつ まで 暮らし ても

いつまでも

ヌプリ コロ カムイ ノミ ヤク ピリカ ナ  
nupuri kor kamuy nomi yak pirka na  
山 の 神 を祭る と 良い よ

山を司るクマ神を祭りなさい」

セコロ アポ ウタラ アコイタクムイェ コロ  
sekor a=po utar a=koitakmuye kor  
と (私の)子 たち (私)言い置い て

と息子たちに言い聞かせながら

710 オンネアン ペ ネ アクス  
onne=an pe ne akusu  
年を取る(私) もの だっ たところ

私は年老いて死んでいくので

アイェ セコロ シネ オツカヨ ニシパ  
a=ye sekor sine okayo nispa  
(私)言う と ある 男性 長者

お話をしますと、ひとりの男性が

イソイタク セコン ネ。  
isoytak sekor\_ ne.  
物語る と さ

物語りましたとさ。

45 ウコトウイェ ukotokuye 「互いに懇意にする」と言おうとしたのだろう。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 1

## 上田トシの民話 1

---

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

---

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。